

2022年度 学生募集要項

2022年度学生募集要項は、本学Webサイトでの公表となります。（冊子の配布は行っておりません。）
パソコンおよびスマートフォン・タブレットにてご覧ください。

名古屋芸術大学 Web サイト
www.nua.ac.jp



名古屋芸術大学 受験生サイト
www.nua.ac.jp/examinee/



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止の観点から、今後の感染状況によっては、掲載されている入試日程、選考方法等を変更して選抜を実施する場合があります。変更が生じる場合は、事前に本学Webサイトにて変更内容の告知を行いますので、そちらをご確認ください。

芸術学部 芸術学科	音楽領域
	舞台芸術領域
	美術領域
	デザイン領域
	芸術教養領域
教 育 学 部	子ども学科



名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

目次

建学の精神、目的、教育理念、目標	2
アドミッション・ポリシー	3
志願者・受験者の個人情報の取扱いについて	4
障がいや疾病のある受験者への特別配慮	4
入学試験の成績開示について	4
学部学科一覧	5
入試日程・募集人員	6
出願から入学手続まで	7
STAGE 1 出願	7
(出願を始める前に、出願方法、入学検定料、出願時の注意事項、Q&A)	
STAGE 2 受験の事前準備	12
(受験票、受験番号照会、受験当日の持ち物、宿泊施設の手配、感染症に関する注意事項)	
STAGE 3 受験当日の注意事項	14
(試験場、受験時の注意事項、受験当日における対応)	
STAGE 4 合格発表	16
(発表方法、合否照会、追加合格)	
STAGE 5 入学手続	17
(学納金、その他の納付金、奨学金、特待生、入学前教育、入学辞退、学籍取得期日)	
出願書類	19
外国人留学生の方へ	21
入学試験概要	
総合型選抜	
総合型選抜入学試験(1期～4期)	24
オンライン・イブニング入学試験(1期・2期)	27
学校推薦型選抜	
一般推薦入学試験	29
一般選抜	
一般入学試験(1期・2期)	32
大学入学共通テスト利用入学試験(1期～3期)	37
特別選抜	
エキスパート入学試験	39
プロフェッショナルアーティスト入学試験(1期・2期)	43
社会人入学試験(1期・2期)	44
海外帰国生徒入学試験(1期・2期)	47
外国人留学生入学試験(1期・2期)	50
3年次編入学試験(1期～3期)	53
選考方法詳細1(音楽領域) ※総合型選抜入学試験・一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験	57
選考方法詳細2(音楽領域) ※エキスパート入学試験・プロフェッショナルアーティスト入学試験	68
選考方法詳細3(音楽領域) ※3年次編入学試験	74
名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表	81
「プラスα加点」について	82
採点基準・評価の観点等	83
各種情報提供(過去問題、入試結果)	86
問い合わせ先	86

建学の精神

「し せ い ほ う し 至誠奉仕」

「誠実な心で、子どもを含む様々な人に接するとともに、自らの学問や技術を伸長させることで芸術や教養、教育・保育の力を養い、これをもって社会と文化に貢献する」

■大学の目的

本学は教育基本法・学校教育法に則り、芸術に関する専門の学術技法、また、人間発達に関する専門的知識を教授研究し、さらに、広範な展望の下、歴史・社会に位置づけるべき総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化ならびに人間発達の創造発展に寄与しうる人を養成することを目的とする。

■大学の教育理念と目標

本学は、知性と感性のバランスのとれた教育理念に基づき、分野横断的取組みによる新たな価値の創造を実現する。キャリア教育の取組みを強化し、自治体や企業との連携を進展させ、芸術による教育・研究を発展させ地域・社会に貢献する。

■各学部・の目的

1. 芸術学部・の目的

芸術における専門的技能と幅広い知識を修得し、その構想力と実践力をもって、芸術文化の創造発展に寄与する人を育成する。

2. 教育学部・の目的

保育・初等教育にかかわる理論ならびに技術の教授を通して、豊かな感性を備え、真に子どもの成長・発達を支えることのできる保育者・教育者を養成する。

■各学部・の教育理念と目標

1. 芸術学部・の教育理念と目標

芸術に関する専門の学術技法を教授し、歴史的・社会的視点にたった芸術教育を施すことにより、地域・社会に貢献しうる人格の形成を目標とする。

2. 教育学部・の教育理念と目標

保育・教育の理論とスキルを学び、実習等の経験を積み上げ、芸術的感性を備え、教育・福祉の両面で、子どもの成長・発達を支える力を獲得し、地域に貢献できる保育士、幼稚園・小学校教諭を育てる。

アドミッション・ポリシー

芸術学部 芸術学科 アドミッション・ポリシー	
芸術に創造的な価値を見だし、自己の潜在能力を導きだし、それらを通じて社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ領域単位で掲げる以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。	
求める学生像	〔音楽領域〕 ・音楽への意欲と情熱、音楽の理論と実技・実践を学修する勤勉性と能力、芸術文化への幅広い視野と関心、音楽への発展を通じて文化的な社会を形成する視点を有していること 〔舞台芸術領域〕 ・舞台芸術（音楽・演劇・舞踊）と社会におけるそれらの価値や役割に強い情熱と関心と学修意欲を持ち、豊かな創造力と想像力、コミュニケーション力を活かして、舞台芸術の発展と舞台芸術を通じた社会課題の解決に臨む意欲があること 〔美術領域〕 ・美術に対する関心や探求心があり、制作や表現に対して創造的な価値を見だし、それらを通じて社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること 〔デザイン領域〕 ・デザインに対する関心や探究心があり、モノづくりや思考を通じて、様々な問題を解決することで社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること 〔芸術教養領域〕 ・芸術学部を設置する各領域各分野をはじめ、現代の多様な文化や社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかしつつ、地域と社会がかかえる課題を協働して解決していく意欲があること
入学までに求める学習成果	・高等学校または中等教育学校の教育内容を幅広く学び得ており、かつ、専攻する分野については好奇心と意欲があること ・主体的に課題や目標に取り組む態度が備わっていること ・自分の意見や主張したい事柄を自己の表現で的確に表現できること
入学者選抜の基本方針	〔総合型選抜〕 ・芸術学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術や知識に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。 〔学校推薦型選抜〕 ・在卒学校の推薦に基づき、課題や作品および面接や書類審査等によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。 〔一般選抜〕 ・実技や作品、面接などを通じて総合的に評価を行います。また、学科試験を課すものについては、科目の学力を通じて各領域における学びの観点から総合的に評価を行います。 〔特別選抜〕 ・芸術学部が求める学生像や学習成果に基づき、これまで経験した事柄や学習歴も含め、実技や作品、小論文などを通じて総合的に評価を行います。また「エキスパート入学試験」では、芸術学部の各領域の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を各領域・コース指定の課題を通じて総合的に評価します。

教育学部 子ども学科 アドミッション・ポリシー	
高度な実践力を備えた保育士、幼稚園・小学校教諭、あるいは子どもたちとの様々な関わりを通して社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。	
求める学生像	・子どもが好きであり、高い倫理観と豊かな人間性が備わっていること ・将来、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などの保育・教育職、あるいは子どもたちに関わる各分野で活躍したいという意欲があること ・協調性を備え、高いコミュニケーション能力が身につけていること ・議論を通して学びを深めようとする好奇心や探求心があること
入学までに求める学習成果	・高等学校または中等教育学校の教育内容を幅広く学び得ていること ・主体的に課題や目標に取り組む態度が備わっていること ・自分の意見や主張したい事柄を自分の言葉で論理的に表現できること ・総合学習やボランティアを通じて、子どもたちをはじめとする多様な人々とのコミュニケーションを経験していること
入学者選抜の基本方針	〔総合型選抜〕 ・教育学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。 〔学校推薦型選抜〕 ・在卒学校の推薦に基づき、面接や書類等によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。 〔一般選抜〕 ・教育学部が求める科目の学力について、個別筆記試験や全国一斉の共同試験、また英語については、指定の民間資格・検定結果などを活用して評価を行います。 〔特別選抜〕 ・教育学部が求める学生像や学習成果に基づき、これまで経験した事柄や学習歴も含め、面接や小論文を通じて総合的に評価を行います。また「エキスパート入学試験」では、教育学部の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を指定の課題を通じて総合的に評価します。

志願者・受験者の個人情報の取扱いについて

出願時に提供された志願者個人情報(氏名、住所等)は、本学における出願処理、出願内容確認等の場合の連絡、入学試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関連書類の送付、合格者の入学後の教務・学生支援関連事務(学籍や健康管理、奨学金申請等)や授業料等に関する業務、および入学試験の改善や志望動向調査・研究を行うために利用いたします。

なお、出願内容について不備等があった場合、その確認や訂正・補完を速やかに行っていただく便宜から、志願者本人が本学を受験されること、および志願者自身の出願内容について不備等があったことを志願者の保護者等または志願者の出身(所属)学校に問い合わせる場合があります。

上記の業務は、その一部を名古屋芸術大学より当該業務の委託を受けた会社(以下、「受託会社」といいます。)において行うことがあります。業務委託にあたり、受託会社に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがありますので、予めご了承ください。

また、本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

以上のことについて、本学への出願手続きを完了した時点で、志願者は上記事項を理解し、同意いただいたものとみなします。

障がいや疾病のある受験者への特別配慮

本学に入学を志願する者で、障がいや疾病を有する等、受験上および修学上、特別な配慮を必要とする場合は、必ず受験しようとする入試区分試験日の3週間前までに、申請書(任意の様式)および「医師の診断書」、「障がい者手帳」のコピー等を本学広報部学生募集チームまで提出してください。

なお、必要な場合には、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身(所属)学校関係者等との面談を行います。

[申請書(任意の様式)記載事項]

氏名、住所、電話番号、志望学部・学科(領域・コース)名、障がいや疾病の種類、受験および修学に特別な配慮を希望する内容、その他参考となる事項

入学試験の成績開示について

名古屋芸術大学では、入学試験受験者本人から請求があった場合に限り、本人が受験した入学試験の結果を開示します。開示を希望される場合は、郵送のみの受け付けとなりますので、以下の要領でお申し込みください。

1. 開示対象の試験区分と開示科目	一般入試:学科試験における科目別得点 大学入学共通テスト利用入試:換算後の科目別得点 「小論文」の得点(入試区分は問わない)
2. 開示申請期間	2022/4/11(月)~5/13(金) [最終日消印有効]
3. 開示方法	開示請求のあったものについて、一括処理後、郵送で出願時記載の住所に送付します。(2022年5月末予定)。転居等により出願時記載の住所と異なる場合は、現住所の住民票の写しを同封してください。
4. 申請者	受験者本人に限ります(代理人申請は不可)。本人確認のため、身分を証明する書類のコピー*を同封してください。 ※氏名と生年月日が示されている書類(例:健康保険証、各種免許証、学生証など) ・提示していただいた個人情報は申請者の本人確認の目的にのみ使用します。
5. 申込方法	次の書類を任意の封筒に入れ、表面に「入学試験成績開示請求」と朱書きのうえ、「簡易書留」にて送付してください。 ●開示を希望する試験区分を明記した書類(任意様式) ●返信用封筒(長形3号 12cm×23.5cm) ※404円分の切手(簡易書留料金含む)を貼り、郵便番号、住所、氏名を記入してください。 ●住民票の写し ※送付先が出願時記載の住所と異なる場合に必ず同封してください。
6. 書類の送付先・問い合わせ先	〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地 名古屋芸術大学広報部学生募集チーム TEL 0568-24-0318

学部学科一覧

学部 学科	領域	コース		募集 定員
芸術学部 芸術学科 (485名)	音楽領域	プロフェッショナルアーティストコース [New]		140名
		声楽コース		
		鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)		
		弦管打コース		
		ウインドアカデミーコース		
		ポップス・ロック&パフォーマンスコース		
		ワールドミュージック・カルチャーコース		
		ミュージカルコース		
		ダンスパフォーマンスコース		
		声優アクティングコース		
		サウンドメディア・コンポジションコース		
		ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース		
		音楽ケアデザインコース		
		音楽総合コース		
	舞台芸術領域	入学時のコース選択はありません。 2年次に右記3コースからの選択制です。	舞台美術コース	50名
			演出空間コース	
			舞台プロデュースコース	
	美術領域	I 類	日本画コース	100名
		II 類	洋画コース	
			現代アートコース	
		III 類	コミュニケーションアートコース	
			工芸コース	
	IV 類	美術総合コース		
	デザイン領域	(先端メディア表現、文芸・ライティングコースを除く)	ヴィジュアルデザインコース	170名
			イラストレーションコース	
			メディアコミュニケーションデザインコース	
			ライフスタイルデザインコース	
スペースデザインコース				
インダストリアル&セラミックデザインコース				
カーデザインコース				
メタル&ジュエリーデザインコース				
テキスタイルデザインコース				
先端メディア表現コース				
文芸・ライティングコース				
芸術教養領域	リベラルアーツコース		25名	
教育学部 子ども学科 (100名) 〈2022年度から 学部・学科名称変更予定〉	入学時のコース選択はありません。 2年次に右記7コースからの選択制です。	小学校教育コース	100名	
		子ども英語コース		
		子どもICTコース		
		子ども創作・表現コース		
		幼児教育・保育コース		
		子ども支援コース		
		子ども健康・スポーツコース		

入試日程・募集人員

試験区分	専願併願	期	科別枠	募集人員						スケジュール (期間:2021年9月~2022年3月)				
				芸術学部 芸術学科					教育学部	エントリー期間 出願登録期間※4 (開始日10:00から 最終日17:00まで)	提出書類 郵送期限 (消印有効)	試験日	出願可否/ 合格発表日	入学手続 締切日
				音楽 領域	舞台 芸術 領域	美術 領域	デザ イン 領域	芸術 教養 領域	子ども 学科					
総合型選抜	専願	1期	共通	60	18	40	60	5※3	25	9/2(木)~9/17(金)	9/21(火)	—	エントリー受付開始 9/28(火)	—
		2期		3	2	2	2	1※3	2	10/1(金)~10/14(木)	10/15(金)	10/23(土)	11/2(火)	12/23(木)
		3期		各領域 若干名					若干名	1/6(木)~1/28(金)	1/31(月)	2/5(土)	2/15(火)	2/24(木)
		4期		各領域 若干名					若干名	3/3(木)~3/21(月)	3/22(火)※1	3/23(水)	3/25(金)	3/30(水)
	併願	1期	共通	—	—	—	—	5※3	2	9/2(木)~9/17(金)	9/21(火)	—	9/28(火)	—
		2期		—	—	—	—	1※3	1	10/1(金)~10/14(木)	10/15(金)	10/18(月)~10/22(金)※2	11/2(火)	12/23(木)
		3期		—	—	—	—	—	—	11/17(水)~12/9(木)	12/10(金)	12/13(月)~12/17(金)※2	12/23(木)	1/21(金)
		4期		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学校推薦型選抜	一般推薦 入試	併願	普通科	8	3	5	6	2	8	11/1(月)~11/11(木)	11/12(金)	11/20(土)	12/2(木)	12/23(木)
	指定校推薦 入試※5	専願	専門科 総合科	7	2	5	6	2	8					
	併願	共通	共通	22	8	15	30	3	20	11/1(月)~11/11(木)	11/12(金)	11/20(土)	12/2(木)	12/23(木)
一般選抜	一般入試	併願	1期	25	10	20	48	6	20	1/6(木)~1/24(月)	1/25(火)	2/2(水)	2/9(水)	2/24(木)
		併願	2期	3	2	2	3	2	2	2/9(水)~2/24(木)	2/25(金)	3/3(木)	3/9(水)	3/17(木)
	大学入学 共通テスト 利用入試	併願	1期	10	4	10	13	3	10	1/6(木)~1/28(金)	1/31(月)	—	2/9(水)	2/24(木)
		併願	2期	2	1	1	2	1	2	2/1(火)~3/1(火)	3/2(水)	—	3/9(水)	3/17(木)
		併願	3期	各領域 若干名					若干名	3/3(木)~3/21(月)	3/22(火)※1	—	3/25(金)	3/30(水)
	併願	共通	共通	25	10	20	48	6	20	1/6(木)~1/24(月)	1/25(火)	2/2(水)	2/9(水)	2/24(木)
特別選抜	エキスパート 入試	併願	共通	各領域 若干名					若干名	1/6(木)~1/28(金)	1/31(月)	2/5(土)	2/15(火)	2/24(木)
	音楽領域 プロフェッショナル アーティスト入試 (音楽領域のみ実施)	併願	1期	若干名	—	—	—	—	—	11/17(水)~12/9(木)	12/10(金)	12/18(土)	12/23(木)	1/21(金)
		併願	2期	若干名	—	—	—	—	—	1/6(木)~1/28(金)	1/31(月)	2/5(土)	2/15(火)	2/24(木)
	社会人入試	併願	1期	各領域 若干名					若干名	11/1(月)~11/11(木)	11/12(金)	11/20(土)	12/2(木)	12/23(木)
		併願	2期	各領域 若干名					若干名	1/6(木)~1/24(月)	1/25(火)	2/2(水)	2/9(水)	2/24(木)
	海外帰国生徒 入試	併願	1期	各領域 若干名					若干名	11/1(月)~11/11(木)	11/12(金)	11/20(土)	12/2(木)	12/23(木)
		併願	2期	各領域 若干名					若干名	1/6(木)~1/24(月)	1/25(火)	2/2(水)	2/9(水)	2/24(木)
	外国人留学生 入試	併願	1期	各領域 若干名					若干名	10/8(金)~10/21(木)	10/22(金)	—	10/29(金)	—
		併願	2期	各領域 若干名					若干名	11/1(月)~11/11(木)	11/12(金)	11/20(土)	12/2(木)	12/23(木)
		併願	3期	各領域 若干名					若干名	12/2(木)~12/17(金)	12/20(月)	—	12/27(月)	—
	現地選抜型 外国人 特別入試 (JPUE)※6	併願	1期	各領域 若干名					若干名	1/6(木)~1/24(月)	1/25(火)	2/2(水)	2/9(水)	2/24(木)
		併願	2期	各領域 若干名					若干名	10/8(金)~10/21(木)	10/22(金)	—	10/29(金)	—
		併願	3期	各領域 若干名					若干名	11/1(月)~11/11(木)	11/12(金)	11/20(土)	12/2(木)	12/23(木)
	3年次編入学 試験	併願	1期	各領域 若干名					若干名	10/8(金)~10/21(木)	10/22(金)	—	10/29(金)	—
		併願	2期	各領域 若干名					若干名	11/1(月)~11/11(木)	11/12(金)	11/20(土)	12/2(木)	12/23(木)
		併願	3期	各領域 若干名					若干名	12/2(木)~12/17(金)	12/20(月)	—	12/27(月)	—
		併願	4期	各領域 若干名					若干名	1/6(木)~1/24(月)	1/25(火)	2/2(水)	2/9(水)	2/24(木)
		併願	5期	各領域 若干名					若干名	2/7(月)~2/18(金)	2/21(月)	—	3/2(水)	—
		併願	6期	各領域 若干名					若干名	3/3(木)~3/17(木)	3/18(金)	3/23(水)	3/25(金)	3/30(水)

- ※1 郵送必着(当日16時まで持込可)
- ※2 表記期間中のうち、いずれか1日を選択し、17時~21時の間で受験希望時間帯を指定
- ※3 総合型選抜1期および2期はオンライン・イブニング入試を含む募集人員
- ※4 エントリーのない試験区分において、外国人留学生は、出願登録開始の3週間前までに事前審査を受けること
- ※5 学校推薦型選抜「指定校推薦入学試験」は本学が指定校対象としております学校長に推薦を依頼し、学校長より推薦された者が受験できます。詳細は、毎年7月に当該高等学校宛に案内を送付しますので、そちらでご確認ください。
- ※6 特別選抜「現地選抜型外国人特別入試」は日本大学連合学力試験(JPUE)を通じて本学を受験する入試です。選考方法等の詳細は、本学Webサイトをご確認ください。

出願から入学手続まで

STAGE 1 出願

インターネットによる出願のみとなります。出願期間内にWeb上で出願登録を行い、出力した提出書類(出願確認票・送付ラベル)とともに志願先に応じた出願書類等を郵送する出願方法です。

※自宅にパソコン・インターネット環境がない場合は本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)までお問い合わせください。

インターネット出願を始める前に

利用環境の確認



推奨環境

〈Windows10〉 ● Internet Explorer 11.0 以降
● Microsoft Edge 91.0以降
● Google Chrome 91.0以降
〈Mac〉 ● macOS 14.6以降 Safari 14.1以降
〈スマートフォン・タブレット〉 ● iOS 14.6以降 Safari 14.1以降
● Android 10.0以降 Google Chrome 91.0以降

※ポップアップブロックを無効に設定してください。

推奨WEBブラウザ以外のブラウザをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。
本サイトのインターネット出願ではcookie(クッキー)およびJavaScriptを使用しています。
ご使用のブラウザの設定画面にて、cookieおよびJavaScriptを「有効にする」に設定してください。
Androidスマートフォン・タブレットをご使用の場合は、ご使用機種の標準ブラウザでは提出書類(PDF)がダウンロードできない場合があります。Androidスマートフォン・タブレットのブラウザはChromeをご使用ください。



PDF

学生募集要項、必要書類、出願申込受付後の「**提出書類**」・「**受験票**」はPDFまたはGoogleDocsで表示されます。
※PDFで文書をご覧いただく場合は、アドビシステムズ社のAdobe Readerが必要です(無償)。
ご利用のパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、最新版をインストールしてください。
※スマートフォン、タブレットでご覧いただいている場合は、GoogleDocsでの表示を推奨しています。
(閲覧に際し、アプリのダウンロードなどは必要ありません)



プリンター

出願申込受付後の「**提出書類**」や「**受験票**」を印刷するためにプリンターが必要です。
ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。
必ず**A4用紙に印刷**してください。
※プリンターをご使用できない環境の場合、「**提出書類**」・「**受験票**」はPDF形式で表示されますので、PDFファイルを保存し、保存したファイルを別途印刷してください。



メールアドレス

志願者情報登録時にメールアドレスの入力が必須となります。出願申込受付等のお知らせメールをお送りします。
※メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。
@nua.ac.jp および@sak-sak.netを受信可能なドメインとして設定してください。



顔写真

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。

- ・本人のみが写っていること
- ・3か月以内に撮影されていること
- ・上半身、無帽、正面向きであること
- ・本人の顔がはっきり確認できること
- ・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること。
- ・カラー写真であること。



個人情報の取り扱いについて

インターネットでの出願申込みの際に、志願者情報として氏名・住所・生年月日などの個人情報を収集します。個人情報の取り扱いについて同意のうえ出願をはじめてください。
〈個人情報の利用目的〉
ご利用者の個人情報の取扱いについては「[志願者・受験者の個人情報の取扱いについて](#)」をご覧ください。

インターネット出願方法

インターネット出願を行う場合は、Step1・Step2・Step3 の手順で申込みを行ってください。検定料のお支払いについては、現金でお支払いの場合とクレジットカードでお支払いの場合で、手順が異なりますのでご注意ください。

Step1 インターネット出願登録

1 インターネットで出願登録ページにアクセス

本学Webサイトからアクセスしてください。

2 試験情報の登録

出願を希望する試験を登録します。

3 志願者情報の登録

氏名・住所・電話番号等を登録します。※顔写真データのアップロードが必要です。(JPEGデータを事前にご用意ください。)

●ユーザID (半角英数字8文字以上。入力したアドレスをIDとすることもできます。)

●パスワード (半角英数字併せて8文字以上。)

※ユーザID・パスワードは「出願状況確認」「受験票ダウンロード」等で必要となりますので忘れないように各自で管理してください。

4 提出用書類の印刷

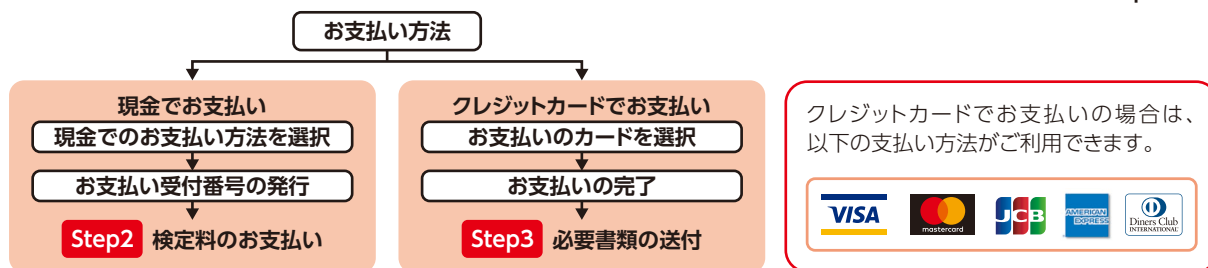
提出用書類を印刷します。

5 お支払い方法の選択

現金支払い(コンビニ、ATM決済(ペイジー)、ネットバンキング)またはクレジットカード支払いを選択します。

※現金でお支払いの場合は、インターネット出願登録後にお支払いを行い、領収書をお受け取りください。(Step2へ)

クレジットカードでお支払いの場合は、お支払い完了画面が表示された後、必要書類の送付を行ってください。(Step3へ)



Step2 検定料のお支払い(現金でお支払いの場合)

現金でお支払いの場合は、以下の支払い方法がご利用できます。

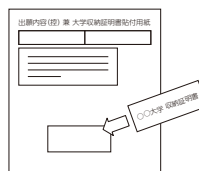
イーコンテキスト サポートページ	
コンビニエンスストア 	領収書 https://www.econtext.jp/support/cvs/7brand.html
ATM決済(ペイジー) 	ネットバンキング
明細票 https://www.econtext.jp/support/netbank/index.html	ペイジー https://www.econtext.jp/support/atm/index.html

ご利用になられるお支払い方法の手順で、検定料のお支払いを行い、**領収書(明細票)**をお受け取りください。領収書(明細票)のコピーは提出用書類に貼り付ける必要があります。
※現金でのお支払い方法の手順については、次ページ以降に記載しております。

Step3 必要書類の送付

1 領収書(明細票)のコピーを提出用書類に貼り付ける

現金でお支払いの場合は、検定料のお支払い時(Step2)に受け取られた領収書(明細票)のコピーを提出用書類(Step1)に貼り付けてください。



※クレジットカードまたは、セブンイレブンおよびデイリーヤマザキでお支払いの場合は領収書(明細票)のコピーは不要です。

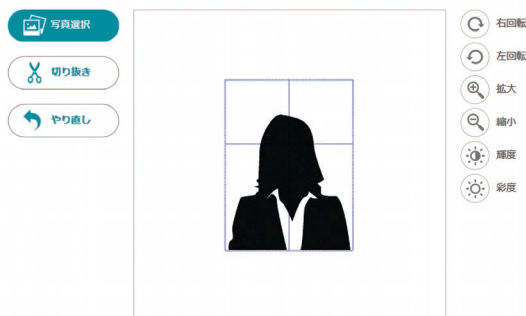
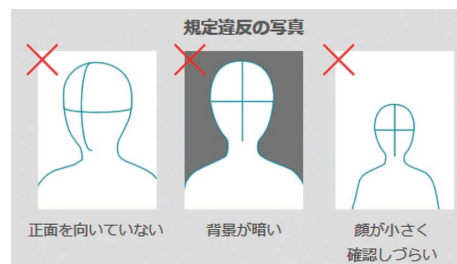
2 提出用書類、調査書等の必要書類を郵送する

※必要書類については、各試験区分の要項でご確認ください。

写真アップロード

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ (JPEG 形式) をご用意ください。

- ・本人のみが写っていること
- ・3か月以内に撮影されていること
- ・上半身、無帽、正面向きであること
- ・本人の顔がはっきり確認できること
- ・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
- ・カラー写真であること



写真データ (JPEG 形式) を選択後に、上記規定のとおりレイアウト枠内に収まるように、左右回転／拡大縮小／輝度／彩度を調整してください。

サイズが一致しない場合は「切り抜く」ボタンをクリックして画像サイズを変更してください。

入学検定料のお支払い方法

現金でのお支払いについては、インターネット出願サイトの「支払方法選択」から、次のご希望のお支払い方法をお選びください。

—コンビニエンスストア—

※コンビニエンスストアをご利用の場合は、30万円を超えるお支払いはできません。

お近くのお店でお支払い

ローソン	ミニストップ
ファミリーマート	セイコーマート
セブン-イレブン	デイリーヤマザキ

—A T M決済 (ペイジー)—

※ATMで現金でのお支払いの場合は、10万円を超えるお支払いはできません。

ゆうちょ銀行	Pay-easy (ペイジー)
--------	-----------------

入学検定料

全入学試験 (大学入学共通テスト利用入学試験を除く)	1 出願につき、15,000円
大学入学共通テスト利用入学試験	1 出願につき、3,000円

支払方法はクレジット決済またはコンビニエンスストア、ペイジー (銀行ATM) での支払いとなり、事務手数料として1出願あたり別途519円 (1出願で入学検定料合計金額が30,000円を超えると1,121円) がかかります。

出願時の注意事項

1. インターネットで出願登録を行います。次に入学検定料を支払い、出願確認票とともに調査書や大学入学共通テスト成績請求票 **私・短** (大学入学共通テスト利用入試およびエキスパート入試) など、提出が求められているものすべてを出願期間内に郵送(消印有効)することで出願が完了します。
2. 入力を間違えた場合、入金があれば無効になるため、再度出願し直してください。また、パソコンやインターネットの状態により画面の途中でエラーになった際は、クレジット決済等の入学検定料決済が済んでいるかの確認を必ず行ってください。
3. スマートフォン等からの出願登録については、一般的な機種では動作を確認していますが、一部の機種では正常に登録できない可能性がありますので、できるだけパソコンを利用して出願してください。
4. 登録したメールアドレスは、登録完了、入金完了の確認、受験票PDF取得通知等のメール送信のために使用します。出願時に「メールアドレスの送信確認」を必ず実行し、本学からのメールが確実に受信できることを確認のうえ登録を行ってください。(ドメイン: @sak-sak.net、@nua.ac.jp) なお、メールが届かない場合は、本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。
5. 入学検定料の支払い後は、出願登録内容(試験日程や志望学科領域コース等)の変更は一切認めません。
6. 一旦納付された入学検定料および受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
7. いかなる場合も本学から領収書の再発行はしませんので、領収書は大切に保管してください。
8. 出願書類に不備・不足がある場合は、出願受付ができない場合があります。
9. 顔写真が不鮮明であった場合は、再提出をお願いすることがあります。
10. 出願書類に虚偽の記載があることが判明した場合には、合格または入学を取り消します。
11. 外国籍(留学ビザ以外)で滞在している場合、保証人(父母または親権者)が日本国内に居住していなければなりません。
12. 外国籍(留学ビザ)で滞在している場合、第一保証人(父母または親権者)および日本国内に居住する第二保証人(知人等は不可)が必要となります。
13. 外国の教育制度に基づく教育施設を修了(修了見込)の者で、教育を受けた国・地域の教育制度において大学に進学するために通常必要な大学入学試験・統一試験を受験した者は、その成績評価証明書も提出してください。その際、日本語・英語以外で記載されている場合は、日本語・英語の訳文を添付し、教育施設、公的機関、翻訳機関等の翻訳証明を提出してください。

インターネット出願 Q&A

1. 利用環境について

スマートフォン、携帯電話、タブレット端末から出願できますか？

パソコン環境のご利用を推奨しています。

スマートフォン、タブレットはご利用できますが、PDF ファイルの印刷環境を準備してください。携帯電話からはご利用できません。

ボタンをクリックしても反応しません。または、次の画面で正しい内容が表示されません。

*cookie (クッキー) の設定が有効になっていますか？

cookie を使用しているため、必ずブラウザの設定を「cookie を受付ける (有効にする)」にしてください。

*JavaScript が有効になっていますか？

JavaScript を使用しているため、必ず JavaScript を有効にしてください。

メールアドレスはスマートフォンや携帯電話のものを使えますか？

スマートフォンや携帯電話のメールアドレスもご利用いただけます。

ただし、メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがありますので、ドメイン (@sak-sak.net) および (@nua.ac.jp) を受信する設定にしてください。

メールアドレスを持っていません。

出願登録時にメールアドレスの入力が必須となりますので、使用可能なメールアドレスをご準備ください。

メールアドレスは登録完了、入金完了の確認メールおよび、受験票PDF 取得通知のメールを送信するために使用します。

また、ID やパスワードを忘れた際に志願者情報を入力することで、登録されたメールアドレスに現在登録されているID または自動設定された新しいパスワードが送信されます。

自宅にプリンタがありません。

自宅にプリンタがない場合は、記憶媒体 (USB メモリなど) に保存してコンビニエンスストア等で印刷をしてください。

2. web 出願について

途中でブラウザを閉じてしまいました。

セキュリティ対策として、入力途中の状態をブラウザに保持しておりません。初めから出願登録をやり直してください。

「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。

セキュリティ対策として、一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。初めから出願登録をやり直してください。

氏名、住所に正しい漢字が登録できません。

旧字やJIS第2水準外の文字等で正しく変換できなかったり、入力エラーになる場合は代替文字 (全角) を入力してください。

例) 高→高、崎→崎、Ⅲ (ローマ数字) →3

なお、入学時に提出いただく書類に正しい漢字で記入いただくことで変更されます。

提出用書類を印刷し忘れしました。

再印刷画面より出願受付番号とパスワードを入力していただければ、再印刷が可能です。

出願登録後に登録内容を変更することはできますか？

*最終確認画面で「申込」をクリックする前の場合

入力した情報を変更することができますので、「戻る」ボタンで画面に戻って変更してください。

*完了画面まで進んでいる場合

【コンビニエンスストア、ペイジー決済の場合】

入学検定料の決済が完了していない場合は、再度出願登録からやり直してください。

入学検定料の決済が完了している場合は変更できません。

【クレジットカード、ネットバンキング決済の場合】

入学検定料の決済が完了していますので変更できません。

申込をキャンセルしたいのですが。

入学検定料の決済前であれば、そのまま決済しなければ、出願期間を過ぎると自動的にキャンセルとなります。

入学検定料の決済後の場合は、キャンセルすることはできません。

個人情報を誤って登録してしまいました。

【入学検定料支払い前の場合】

現在の登録はそのままにして、再度出願登録からやり直してください。

【入学検定料支払い後の場合】

印刷した出願確認票の訂正箇所二重線を引き、空いているスペースに正しい内容を赤ペンで記入してください。

入試種別、志望学部の変更・取消はできませんので、ご注意ください。

STAGE 2 受験の事前準備

受験票 ※本学からの受験票送付はありません。

受験票はインターネット出願時に出力が求められる受験票(PDF)を出力のうえ、試験当日必ず持参してください。なお、受験票を持参しない場合は受験できない場合があります。また受験票を紛失または忘れた場合は、試験場にて係員に申し出てください。

※大学入学共通テスト利用入試は本学独自の試験は実施しませんので受験票の出力はできません。大学入学共通テスト利用入試志願者の受験番号は、「受験番号照会サービス」項目で確認してください。

受験票ダウンロード

提出書類を本学で確認後に、受験票PDFをダウンロードしていただきます。**〔本学からの受験票の送付はありません。〕**
インターネット出願登録時に登録するユーザIDとパスワードを忘れないようにしてください。

受験票取得(確認)期間

試験区分	期	受験票取得可能日 (10:00~)
総合型選抜	1期	2021/10/16(土)
	2期	2021/12/11(土)
	3期	2022/2/1(火)
	4期	試験当日配付 ^{*1}
オンライン・イブニング入試	1期	2021/10/16(土)
	2期	2021/12/11(土)
学校推薦型 選抜	一般推薦	2021/11/16(火)
	指定校推薦	2021/11/16(火)
一般選抜	一般入試	1期 2022/1/29(土)
		2期 2022/2/26(土)
	大学入学共通テスト 利用入試 ^{*2}	1期 受験票は ありません
		2期
		3期

試験区分	期	受験票取得可能日 (10:00~)
特別選抜	エキスパート入試	2022/2/1(火)
	音楽領域 プロフェッショナルアーティスト入試	1期 2021/12/11(土)
		2期 2022/2/1(火)
	社会人	1期 2021/11/16(火)
		2期 2022/1/29(土)
	海外帰国生徒	1期 2021/11/16(火)
		2期 2022/1/29(土)
	外国人留学生	1期 2021/11/16(火)
		2期 2022/1/29(土)
	現地選抜型 外国人特別入試 (JPUE)	2021/11/16(火)
	3年次編入学	1期 2021/11/16(火)
		2期 2022/1/29(土)
		3期 試験当日配付 ^{*1}

※1 試験場、受付場所および受付時間についてはメールで通知します。

※2 「大学入学共通テスト利用入試」は受験票はありません。「インターネット等による受験番号照会」の案内に従い、必ず確認してください。

1 インターネット出願サイトにアクセス

受験票PDFダウンロード通知メールを受け取ったら、インターネット出願サイトのトップ画面右下にある「ユーザ登録済の受験者用」欄に、出願登録時に登録した「ユーザID」と「パスワード」を入力し、「出願状況確認」ボタンをクリックしてログインしてください。

2 受験番号を確認

出願登録した日時を確認し、出願受付番号欄に記載されている、「出願受付番号」をクリックして出願状況詳細を表示し、受験番号欄に記載されている受験番号を確認してください。

確認する出願状況を選択します。該当する出願受付番号をクリックしてください。

出願日時	出願受付番号
2017/07/02 18:20:36	1009000016

クリック

3 受験票を印刷

出願状況詳細に表示されている受験番号欄の右側にある「印刷」ボタンをクリックし、受験票PDFをダウンロードします。
ダウンロードした受験票PDFは、確実に印刷し、**試験当日に持参**してください。

※正しく印刷されない場合

推奨環境以外で印刷を行うと、正しく表示がされない場合がございますので、推奨環境の設定をお願いいたします。

※ユーザID、パスワードを忘れた場合

利用案内画面の「ユーザIDを忘れた方はこちら」、「パスワードを忘れた方はこちら」を参照してください。

受験番号照会〔大学入学共通テスト利用入試〕

受験番号照会サービスの利用期間

各期受験番号照会サービス開始日の午前10時から入学手続期限日まで

1

パソコン・スマートフォン・タブレットで受験番号照会ページにアクセス（※本学Webサイトからもアクセスできます。）

<https://sak-sak.net/app/ref/nua/>



（スマートフォン用）

2

大学入学共通テスト成績請求番号と生年月日の入力

大学入学共通テスト成績請求番号と生年月日を入力し、「受験番号確認」ボタンをクリックしてください。

3

受験番号の確認

試験区分		期	照会サービス開始日 (10:00~)
一般選抜	大学入学共通テスト 利用入試	1期	2022/2/2(水)
		2期	2022/3/3(木)
		3期	2022/3/23(水)

受験当日の持ち物

●受験票

折り曲げても差し支えありませんが、濡れたり（雨天時等）破損したりしないよう心掛けてください。

●筆記用具

HBの黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム

※特に指定していない限り、下敷き、辞書、電子機器類の使用は認めません。

●時計

時計以外の機能が付いたものの使用は認めません。（スマートウォッチ、ウェアラブル端末が付いているものや辞書、電卓の機能があるもの）。また、スマートフォン（携帯電話）や目覚まし時計、キッチンタイマー等を時計として使用することはできません。

●昼食

必要に応じて持参するようにしてください。なお、試験当日は試験場の食堂は営業していません。また、ゴミは必ず持ち帰ってください。

●楽器や作品、課題等、入学試験当日に必要なもの。または持参の指示があったもの

各学科領域コースにおける持参必要なものについては、受験する入試区分の選考方法を各自確認のうえ忘れないよう持参してください。

※筆記用具や時計の貸し出しは行いません。また、耳栓は試験監督者の指示が聞き取れない場合があるため、使用は認めません。なお、ハンカチ、ティッシュペーパー、座布団、ひざ掛け、目薬の使用を希望する場合は、あらかじめ試験監督者の許可を得てください。

宿泊施設の手配

本学受験のために宿泊を希望される場合、本学が斡旋している宿泊先の情報は、本学Webサイトをご覧ください。

その他、各旅行代理店やインターネットの宿泊ナビサイト等を利用のうえ各自でご予約されるようお願いいたします。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス（COVID-19）、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹等）に罹患し、治療していない場合は、他の受験者や監督者への感染のおそれがありますので、受験を遠慮願います。

ただし、病状により学校医その他の医師から伝染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により、受験を遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。

STAGE 3 受験当日の注意事項

試験場

- 試験場は受験票に記載されますので、確認のうえ、間違いのないようご注意ください。
- 試験場は原則、名古屋芸術大学東キャンパス[愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地]または、名古屋芸術大学西キャンパス[愛知県北名古屋市徳重西沼65番地]となりますが、受験者数や密閉・密集・密接の回避の観点から、別の施設を試験場として設定する場合もありますので必ず受験票およびメール通知にてご確認ください。
- ・[大学入学共通テスト利用入試]は、個別学力検査は実施しませんので試験場はありません。
- ※東西両キャンパスとも最寄り駅は名鉄「徳重・名古屋芸大」駅です。普通(各駅停車)電車しか停車しない駅ですので、名鉄電車利用の際はしっかり確認して乗車するようにしてください。
- ※名古屋市内には「徳重」という地下鉄の駅があります。このため、タクシー等乗車の場合、正しく行先を告げなかったため、本学とは異なる地域に搬送された例がありました。タクシー等乗車の場合は、正しく目的地を伝えるよう気をつけてください。
- ※試験場を間違えた場合は、間違えた試験場での受験はできませんのでご注意ください。

受験時の注意事項

- 公共交通機関による試験場へのアクセスは事前に各自で確認のうえ、時間に余裕をもって来場してください。なお、自動車による送迎は、必ず指定の駐車場をご利用ください。
- 試験当日は試験場の誘導掲示等に従い、指定された試験室に入室してください。また、筆記、記述の選考内容を受験する場合、試験室では机の上に貼られている受験番号シールが自分の受験票に記載されている受験番号と同一であることを確認のうえ着席してください。
- 受験票を忘れた場合や紛失した場合は、必ず係員に申し出て指示を受けてください。
- 試験当日の遅刻限度は、試験開始後20分まで**です。試験開始後20分を過ぎた遅刻者は、当該科目の受験は認めません。なお、公共交通機関の遅れによる遅刻の場合は、公共交通機関窓口(駅など)で「遅延証明書」を受け取り、係員に提出してください。自動車を利用した場合の交通渋滞などによる遅刻は一切認めません。
- 特別に指定している場合を除き、試験室入室の際、スマートフォン(携帯電話)等の通信機器類は必ず電源を切ってください。万一、試験時間中に鳴動した場合、試験監督者が所有者の同意がないまま試験室外へ持ち出し、試験終了まで本学が保管する処置をとる場合があります。
- 受験者の付き添い者は試験室へは入室できません。試験終了までお待ちになる場合は所定のスペースをご利用ください。
- 試験開始から試験終了まで試験室からの退室は認めません。なお、試験中の発病、または用便等やむを得ない場合は、すみやかに試験監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長は一切行いません。
- 試験前日等に試験場の下見は可能ですが、試験室内は見ることができません。
- 試験当日は、気候気温に応じて空調稼働しますが、体感温度には個人差がありますので、調整しやすい服装を心がけてください。
- 受験時は、すべて試験監督者の指示に従ってください。なお、以下の行為は不正行為とみなし、受験そのものを取り消すとともに入学金検定料も返還しません。
 - ・カンニング(カンニングペーパー、関連書籍の閲覧、他の受験者の答案等を見る行為)をすること
 - ・受験者以外の者が、受験者本人になりすまして受験すること
 - ・解答を教えるなど、他の受験者に有利となるような行為をすること
 - ・使用を認められていない用具を使用して解答すること
 - ・試験の開始や終了の指示など、試験監督者の指示に従わないこと
 - ・特別に指定している場合を除き、試験時間中にスマートフォン(携帯電話)や電子機器類(電子辞書、ICレコーダー等)、電卓等の補助具等を身につけていたり、手に持っていること
 - ・その他、試験の公平性や試験中の静寂性を損なうような行為をすること
- 筆記、記述の選考内容を受験する場合、英語の文字や地図、漢字の表記がプリントされている衣服は着用しないでください。試験当日着用していた場合は試験監督者の判断により、脱衣もしくは当該部分を覆う等の指示や処置を行う場合があります。
- 試験当日、試験場周辺には、可否確認を代行するとか、不動産物件を紹介するといったことで声を掛けてくる私設業者がいることがあります。そうした業者は本学とは一切関係のない業者ですので、トラブル等に発展しないよう十分お気をつけください。なお、万一トラブルになっても本学は一切責任を負いません。
- 試験当日、気象警報が発令されていた場合でも予定通り入学試験は行います。試験日時の変更や試験の開始・終了時刻の変更措置を取る場合は、本学Webサイトにてお知らせします。なお、受験に必要な費用(試験場までの旅費交通費や食事代等)は、いかなる理由があっても受験者本人が負うものとします。また、本学から緊急の連絡をする場合がありますので、入学試験当日まで電話連絡がつくようにしておいてください。
- 感染症拡大予防の観点から以下の内容についてご協力ください。
 - ①試験当日はマスクの着用をお願いします。
 - ・試験実施中に試験監督者が写真照合する際は試験監督者の指示に従って、一旦マスクを取り外してください。

- ・試験監督者もマスクやフェイスシールド等を着用しますので予めご了承ください。
- ②試験場内(試験室や面接待機室等)では適宜、空気の入替えを行います。
- ③試験場内に複数設置されている手指消毒液等の利用や手洗い等、こまめに実践してください。
- ④その他感染拡大防止に関する試験場内での措置等(体温確認や手指等の消毒等)にご協力ください。

受験当日における対応

本学は、入学試験の実施に際し、公平で良好な受験環境の保持に最大限努めますが、やむを得ず以下のような対応を取る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 不測の事態(地震などの自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延、校内施設の故障等)の発生により、試験開始時刻の繰り下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、そのための休憩時間の調整などの措置をとることがあります。その場合、本学の責によらない不可抗力による事故等であることが明らかな場合は、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
2. 試験室内の設備(机、いす、空調、照明、音響設備等)の違いなどは、合否判定の際、一切考慮しません。
3. 試験時間中に日常生活騒音が発生した場合でも、特別な救済措置は行いません。
例:緊急車両のサイレン、風雨・雷鳴、動物の鳴き声、空調や照明など設備が発する音、咳やくしゃみ など
4. 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な打合せや指示、説明、巡回を行うことで生じる音等に対する申し出には一切応じません。
5. 特定の受験者の行為が、他の受験者に迷惑であると試験監督者が判断した場合は、受験の中止や別室受験等の指示を講じることがあります。

STAGE 4 合格発表

発表方法

〔郵送通知〕

合格者には合格発表日に合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで発送します。不合格者には通知書を送付しませんので、あらかじめご了承ください。

〔インターネット合格発表〕

本学の公式な合格発表は、合格通知書の発送によるものとしますが、合格発表の補助手段として、インターネットによる合格発表を合格発表日の午前10時から行います。掲載期間は合格発表日から入学手続締切日までです。

※合格発表の学内掲示は行いません。また、合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

※本学は、受験者の入試結果を出身(所属)学校長宛に通知します。(卒業見込者のみ)。

合否照会

合否照会サービスの利用期間

各試験合格発表日の午前10時から入学手続期限日まで

1

パソコン・スマートフォン・タブレットで合否照会ページにアクセス (※本学Webサイトからもアクセスできます)

<https://sak-sak.net/app/pass/nua/>



(スマートフォン用)

2

受験番号と生年月日の入力

受験番号と生年月日を入力し、「合否照会」ボタンをクリックしてください。

3

合否の確認



注意事項等

- ・利用時間は各種試験別ごとに定めてあり、期間外には見ることはできません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・操作方法ならびに合否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。
- ・パソコン等のブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- ・画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

【合否照会について】 ●当サービスでの合否照会は速報であり、合格者には本人宛に正式な合格通知書を送付します。
●本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認められません。

追加合格

1. 本学は、入学手続者が入学予定者数に達しない場合に、入試の成績結果により追加合格を発表する場合があります。追加合格者の発表方法は、原則として対象者に電話連絡をもって行います。
2. 追加合格者には、合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで郵送します。
3. 入学手続の詳細については、合格通知書とともに送付する書類を参照してください。
4. 追加合格については、本学 Web サイトや学内掲示等による発表は行いません。また、追加合格の合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

STAGE 5 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学に必要な手続書類一式を送付します。それぞれの手続書類に従って入学手続を行ってください。なお、学納金納入期限は「入学手続締切日」のとおりです。期日までに納入手続を完了してください。完了されていない場合は、入学辞退とみなします。

入学手続を完了された方に「入学許可書」を発送します。「入学許可書」の発送は入学手続締切日後の1週間以内を予定しています。

学納金

(2022年度入学者用／単位：円)

学部・学科・領域	コース	入学金	前期納付金				後期納付金				初年度納付金合計
			授業料	教育充実費	実習費	合計	授業料	教育充実費	実習費	合計	
芸術学部 芸術学科	下記以外のコース	200,000	662,500			932,500	662,500			932,500	2,065,000
	プロフェッショナルアーティスト		795,000			1,065,000	795,000			1,065,000	2,330,000
	音楽領域										
	ウインドアカデミー		530,000	200,000	70,000	800,000	530,000	200,000	70,000	800,000	1,800,000
	ミュージックエンターテインメント・ディレクション/ 声優アクティング/ダンスパフォーマンス		400,000			670,000	400,000			670,000	1,540,000
	音楽ケアデザイン		612,500			882,500	612,500			882,500	1,965,000
	舞台芸術領域		425,000	275,000	70,000	770,000	425,000	275,000	70,000	770,000	1,740,000
	美術領域		425,000	275,000	70,000	770,000	425,000	275,000	70,000	770,000	1,740,000
	デザイン領域		425,000	275,000	70,000	770,000	425,000	275,000	70,000	770,000	1,740,000
	文芸・ライティング		350,000	250,000	50,000	650,000	350,000	250,000	50,000	650,000	1,500,000
教育学部 子ども学科	芸術教養領域		350,000	250,000	50,000	650,000	350,000	250,000	50,000	650,000	1,500,000
	リベラルアーツ		350,000	250,000	50,000	650,000	350,000	250,000	50,000	650,000	1,500,000
教育学部 子ども学科		200,000	300,000	250,000	55,000	605,000	300,000	250,000	55,000	605,000	1,410,000

※入学金および前期納付金は入試日程の「入学手続締切日」までの納付、後期納付金は2022年10月下旬の納付です。

その他の納付金

(2022年度入学者用／単位：円)

学部・学科・領域		同窓会費 (入学時のみ納付)	後援会費 (毎年度)*	学生教育研究災害 傷害保険料 (入学時のみ)	学生教育研究賠償 責任保険料 (入学時のみ)	初年度 その他納付金 合計
芸術学部 芸術学科	音楽領域	29,000	16,000	3,300	1,360	49,660
	舞台芸術領域	29,000				49,660
	美術領域	20,000				40,660
	デザイン領域	20,000				40,660
	芸術教養領域	29,000				49,660
教育学部 子ども学科		20,000				40,660

※2年目以降は
10,000円

奨学金

(2022年度入学者用)

奨学金制度の名称		奨学金の内容
本学独自の奨学金 (返還の義務なし)	学費減免制度 ^{※1}	・経済的理由により修学援助を必要とする学業成績、人物ともに優れた2学年以上の学生(若干名) ・当該学年の授業料の1/2額(I種)もしくは1/4額(II種)を免除
	緊急奨学金 ^{※1}	・保護者の急変により学費支弁を継続することが極めて困難になった学生の修学を支援する ・当該学年の年額授業料の半期分相当額を給付する。給付額は1学生に付き原則1回限り
	兄弟姉妹学費減免制度 ^{※1}	・名古屋芸術大学大学院、名古屋芸術大学の正規課程に同時期に在籍する兄弟姉妹の学生のうち最も高い授業料の1名に対しその学費を減免 ・当該学年の授業料の1/2額を免除 ^{※2}
	親子入学金免除奨学金 ^{※1}	・名古屋芸術大学大学院、名古屋芸術大学、名古屋芸術大学 短期大学部の卒業生の父、母、子が入学した場合 ・入学手続時に納入した入学金を免除
	名古屋音楽学校修了生に係る 名古屋芸術大学 入学金免除奨学金 ^{※1}	・名古屋音楽学校の専攻コースまたは特別研究コースに原則として1年間在籍した修了生 ・入学手続時に納入した入学金を免除
^{※1} 学費減免・奨学金制度の利用にあたっては、入学後、所定の期間内に、各自で申請手続きを行う必要があります。 ^{※2} 申請により、後期分の授業料が免除されます。		
公的奨学金等	【貸与型奨学金】独立行政法人日本学生支援機構奨学金	
	・第一種奨学金(無利子)	貸与月額/自宅通学者:20,000円 30,000円 40,000円 54,000円より選択(貸与期間中の金額変更可能) 自宅外通学者:20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円より選択(貸与期間中の金額変更可能)
	・第二種奨学金(有利子)	貸与月額/20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 60,000円 70,000円 80,000円 90,000円 100,000円 110,000円 120,000円より選択(貸与期間中の金額変更可能)
	【期 間】標準修業年限 【対象者】学業・人物ともに特に優れているが、経済的理由により修学が困難な者	
	【給付型奨学金・授業料等減免】高等教育の修学支援新制度	文部科学省 高等教育の修学支援新制度 ホームページ→ https://www.mext.go.jp/kyufu/ 
・日本学生支援機構給付型奨学金 自宅通学:最高約46万円 自宅外通学:最高約91万円 ・文部科学省授業料減免 最高約70万円(授業料・入学金の免除または減額) 【期 間】標準修業年限4年間 【対象者】制度の詳細等は、「文部科学省高等教育の修学支援新制度ホームページ」を参照		

名古屋芸術大学特待生

対象学生・資格		減免額
入学特待生 A	①特別選抜「エキスパート入試」特待生制度 「エキスパート入試」の合格者で、当該試験において成績順位が上位の者のうち学長が推挙した者【若干名】	授業料、教育充実費および実習費を全額免除 (第1学年次のみ)
	②一般選抜「一般入試1期」特待生制度 芸術学部および教育学部の「一般入試1期」合格者で、当該試験における成績順位が上位の者のうち学長が推挙した者【5名以内】	
入学特待生 B	③一般選抜「一般入試1期」特待生制度 芸術学部および教育学部の「一般入試1期特待生制度[A特待]」に該当しなかった者で、当該試験における成績が上位の者のうち学長が推挙した者【13名以内】	授業料の50万円を超える額、教育充実費および実習費の免除 (第1学年次のみ)
	④特別選抜「社会人」「海外帰国生徒」「外国人留学生」特待生制度 芸術学部および教育学部の「社会人入試」「海外帰国生徒入試」「外国人留学生入試」における成績が上位の者のうち学長が推挙した者【「社会人入試(1期・2期)」「海外帰国生徒入試(1期・2期)」「外国人留学生入試(1期・2期)」合計で5名以内】	
在学特待生	学部の第2学年から第4学年までに在学する学生、および大学院各研究科第2学年に在籍する院生のうち、人格が高潔で学習に取り組む意欲が高く、かつ著しく学業成績優秀または専門的学術技芸等の実績が高く他の学生の模範と認める者【21名以内】	授業料、教育充実費および実習費を全額免除 (特待生として推挙された年度の1年間)

入学前教育

名古屋芸術大学では年内に実施する各入試での合格者に対し、入学手続から入学までの期間を有意義に過ごしていただき、新たな大学での生活に対する不安の解消および入学後に専攻する分野の基礎等を学び体験することで、大学の学びへ円滑に移行できるようにすることを目的として、入学前教育を実施します。

※スクーリングは欠席されても、入学にあたって不利益等は一切ありません。

※課題内容等の詳しい内容は合格者に通知します。

入学辞退について

一旦納付された学納金は原則として返還しません。ただし、入学手続を完了した者で、2022年3月31日(木)15時までに入学を辞退し、本学から送付した「入学納付金返還願」を提出した者については入学金を除く納付金は返還します。

なお、その他の納付金については、期日に関わらず「入学辞退届」が提出されれば返還します。

新入生の学籍取得期日

新入生の学籍取得期日は、2022年4月1日(金)となります。

出願書類

試験区分ごとに必要な出願書類を「書留速達」で郵送してください。(出願期間外の出願書類は受け付けません。)

出願書類	様式 番号	試験区分						
		総合型選抜 (オンライン・ イブニング入試含む)		学校推薦型選抜 一般推薦	一般選抜		特別選抜	
		エントリー	出願	出願	一般入試 出願	共通テスト 利用入試 出願	エキスパート 入試 出願	プロフェッショナル アーティスト入試 出願
☐ (1) 出願確認票	—		○	○	○	○	○	○
☐ (2) 調査書 ^{※1}	—		○	○	○	○	○	○
☐ (3) 最終学歴の卒業証明書	—							
☐ (4) 最終学歴の成績証明書	—							
☐ (5) 履歴書	—							
☐ (6) 大学入学志望理由書	様式1	○ ^{※2}		○			● デ・子	
☐ (7) 活動報告書	様式2	▲ ^{※2} 音・舞・芸・子		△	▲ ^{※2} 美・デ(2期のみ)			● 音
☐ (8) 推薦書	様式3			○				
☐ (9) 実技曲目記入用紙	様式4		▲ 音	▲ 音	▲ 音		▲ 音	▲ 音
☐ (10) 作品提出記入用紙	様式5			▲ 音	▲ 音		▲ 音	▲ 音
☐ (11) 個人報告書	様式6					● 音・舞		
☐ (12) 声楽曲伴奏楽譜	—		▲ 音	▲ 音	▲ 音			▲ 音
☐ (13) 作品(事前提出)等	—		▲ ^{※3} デ	▲ 音	▲ ^{※3} 音・デ		▲ 音	

出願書類	様式 番号	試験区分					
		特別選抜					
		社会人入試 出願	海外帰国生徒入試 出願	外国人留学生入試 エントリー 出願	3年次編入学試験 エントリー 出願	3年次編入学試験 エントリー 出願	3年次編入学試験 エントリー 出願
☐ (1) 出願確認票	—	○	○		○		○
☐ (2) 調査書 ^{※1}	—						
☐ (3) 最終学歴の卒業証明書	—	○	○	○		○ ^{※4}	
☐ (4) 最終学歴の成績証明書	—	○	○	○		○ ^{※4}	
☐ (5) 履歴書	—	○	○	○		○	
☐ (6) 大学入学志望理由書	様式1	○	○	○		○	
☐ (7) 活動報告書	様式2						
☐ (8) 推薦書	様式3						
☐ (9) 実技曲目記入用紙	様式4	▲ 音	▲ 音		▲ 音		▲ 音
☐ (10) 作品提出記入用紙	様式5	▲ 音	▲ 音		▲ 音		▲ 音
☐ (11) 個人報告書	様式6						
☐ (12) 声楽曲伴奏楽譜	—	▲ 音	▲ 音		▲ 音		▲ 音
☐ (13) 作品(事前提出)等	—	▲ ^{※3} 音・デ	▲ ^{※3} 音・デ	▲ ^{※3} 音・デ	▲ ^{※3} 音・デ		▲ ^{※3} 音・デ

○＝全学科領域対象(必須)、△＝全学科領域対象(任意)、●＝一部の学科領域のみ(必須)、▲＝一部の学科領域のみ(選考科目による)

*音:音楽領域、舞:舞台芸術領域、美:美術領域、デ:デザイン領域、芸:芸術教養領域、子:子ども学科

※1 指導要録の保存期間が経過した等の事情により「調査書」の発行ができない場合は、「卒業証明書」を提出してください。

※2 総合型選抜1期のみエントリー時に提出

※3 デザイン領域は、文芸・ライティングコースのみ

※4 3年次編入学については出願資格に応じて以下の書類を提出してください。

a. 大学、短期大学、高等専門学校等を卒業・修了した者、または2022年3月までに卒業・修了見込の者

→ 卒業・修了(見込)証明書および成績証明書

b. 大学2年次以上に在学し、62単位以上を修得した者、または2022年3月までに修得見込の者

→ 在学証明書、単位修得(見込)証明書および成績証明書

c. 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上であること)を修了した者、または2022年3月までに修了見込の者

→ 専門課程修了(見込)証明書(専門士の資格が取得できる旨が付記されたもの)および成績証明書

外国人留学生の方は、この他にも提出書類がありますので「外国人留学生の方へ」の提出書類も併せてご確認ください。

提出書類について

出願書類	説明内容
①出願確認票	インターネット出願登録完了後に表示される出願確認票を印刷してください。 ※大学入学共通テストの成績を反映する入試は、大学入学共通テスト成績請求票(私立大学用)を切り取って出願確認票に貼り付けてください。
②調査書	全体の学習成績の状況の記載があり、出身学校長が証明、厳封したもの ※調査書の提出は内容に変更なければ併願、複数回の出願の場合でも1人1通で結構です。 ※卒業見込みの者については、高等学校および中等教育学校において出願期間開始前3か月以内に作成されたもの ※高等学校卒業認定試験合格者(大学入学資格検定合格者含む)は、調査書に替えて検定合格証明書および合格成績証明書を、同試験合格見込み者は、成績の記載された合格見込成績証明書を提出してください。 免除科目のある場合は、高等学校の成績証明書等、免除科目を証明できる書類を添付してください。 ※調査書が発行されない場合は、卒業証明書を提出してください。
③大学入学志望理由書(様式1)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを用いて、必要項目を記入してください。 (白黒/カラー問いません)
④活動報告書(様式2)	対象となる試験区分の「プラスα加点」を希望する場合、「CEFR基準のスコア」による「適性検査(英語)」「学科試験(英語)」の試験免除を希望する場合に提出してください。本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを用いて、必要項目を記入してください(白黒/カラー問いません)。また、第三者による作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。
⑤推薦書(様式3)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを用いて、出身学校長が作成、厳封したもの (白黒/カラー問いません)
⑥実技曲目記入用紙(様式4)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを用いて、必要項目を記入してください。 (白黒/カラー問いません)
⑦作品提出記入用紙(様式5)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを用いて、必要項目を記入してください。 (白黒/カラー問いません)
⑧個人報告書(様式6)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものを用いて、音楽領域を志望する場合は様式6-1、舞台芸術領域を志望する場合は様式6-2に必要項目を記入してください。 (白黒/カラー問いません)
⑨声楽曲伴奏楽譜	「選考方法詳細(音楽領域)」を参考に個別で作成してください。

〈その他の注意事項〉

- 日本語または英語以外の証明書などには、必ず日本語または英語の翻訳を添付してください。
- 一旦、提出された出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- 出願後における受験する学科領域コースの変更は一切認めません。
- 出願確認票の氏名と提出書類の氏名が異なる場合は、改姓を証明する公的な書類を添付してください。
- 外国の学校を卒業した場合は、①卒業(見込)証明書、②成績証明書を出願時に郵送してください。

名古屋芸術大学所定様式のダウンロードはこちら
www.nua.ac.jp/examinee/entrance/



外国人留学生の方へ

出願資格

以下の①～⑤の条件をすべて満たしている者

※3年次編入学試験受験者の「出願資格」については、該当する要領のページをご確認ください。

①	日本国以外の国籍を有する者で、私費または国費による修学が可能な者(日本国永住許可を得ている者や日本国籍を有する二重国籍者は出願不可)
②	2022年4月1日までに、満18歳に達する者
③	次のいずれかに該当する者 (1)外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了(卒業)した者および2022年3月31日までに修了(卒業)見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (2)外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者 (3)外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルのいずれかの資格認定書を保有する者 (4)国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSIの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについて可。) (5)上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者 文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者 (6)本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認めた者
④	出入国管理および難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(「留学」)を取得または更新できる者 ※出入国管理庁より「在留資格認定証明書」または、「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、入学許可を取り消します。 ※「定住者」、「家族滞在」等の在留資格を有する場合はこの限りではありません。
⑤	表1に記載されている「受験時に必要な日本語能力」のいずれかの基準を満たしている者 ※試験結果は、2019年4月1日以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。

表1 受験時に必要な日本語能力

	試験名	必要スコア(下記の成績以上)
1	日本語能力試験(JLPT)	[N1] または [N2]
2	日本留学試験(EJU)	[科目:日本語]において、 [聴解・聴読解120点以上] かつ [読解120点以上]
3	BJTビジネス日本語能力テスト	400点以上
4	日本語テストシステム J-CAT	250点以上
5	日本大学連合学力試験 HomeEdition(JPUE_HE)	[科目:日本語]において、 JLPT [N2] 相当以上
6	上記に示した試験のスコアと同等の日本語力を有することを証明できる者	

「出願資格審査登録」について

外国人留学生については、出願しようとする入学試験の出願開始3週間前までに、本学Webサイトから「出願資格審査登録」のうえ、出願資格審査に必要な書類を提出してください。

本学Webサイト>受験生サイト>入試情報>入学試験「外国人留学生の方へ」

提出書類(エントリーおよび出願資格審査時) ※エントリーのない入試では、「出願資格審査登録」のうえ、出願開始の3週間前までに提出してください。

	書類名	備考
①	大学入学志望理由書(様式1)	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。(白黒/カラー問いません)
②	出身学校の卒業(見込)証明書	成績証明書と一体になっている書類の場合は、提出不要です。
③	出身学校(高等学校・大学等)の成績証明書 ・証明書の原本を提出してください。 ・日本語または英語表記のものに限ります。 日本語・英語以外の言語で記載されている場合は、大使館などの公的機関で証明した日本語訳または英語訳を原本と一緒に提出してください。 なお、日本語学校に在籍中の方は、日本語学校による証明も可とします。	【高等学校を卒業しておらず、外国において大学入学資格検定に合格している場合】 ・大学入学検定試験に合格している方は、合格証明書と成績証明書を提出してください。 ・高等学校を中途退学の場合、高等学校在籍時の成績証明書も併せて提出してください。 【自国の正規の教育制度により、初等/中等教育を受けた期間が12年に満たない場合】 ・学校の卒業証明書と成績証明書に加えて、文部科学大臣の指定した準備教育課程の修了(見込)証明書と成績証明書を提出してください。
④	在留資格を証明する書類 ・日本に在留している場合: ①在留カードのカラーコピー(両面)(A4サイズ用紙) ②パスポートのカラーコピー(A4サイズ用紙) ・日本に在留していない場合: ①パスポートのカラーコピー(A4サイズ用紙)	※在留カードは、裏面に記載がなくともカラーコピーを取ってください。記載がないことを確認します。 ※パスポートの身分事項(氏名、顔写真、生年月日、国籍、パスポートの有効期限等)が記載されているページをカラーコピーしてください。 ※A4サイズ用紙にカラーコピーしてください。
⑤	日本語能力レベルを証明する書類 以下より、いずれかひとつを提出してください。 1.日本語能力試験(JLPT) ①「認定結果および成績に関する証明書」 ②「合否結果通知書」のコピー ③「日本語能力認定書」のコピー 2.日本留学試験(EJU) ①「成績に関する証明書」 ②「成績通知書」のコピー 3.上記のほか、出願資格⑤に該当する試験のスコアを証明できる「成績表」、「合格通知」、「認定書」等のコピー	※日本語能力試験(JLPT)の「認定結果および成績に関する証明書」や、日本留学試験(EJU)の「成績に関する証明書」は発行に時間がかかるため、出願時に間に合うよう余裕をもって発行手続きを行ってください。
⑥	留学費用支払いに関する証明書(経費支弁書)(様式7) 経費支弁者が自筆で記入し、署名してください。記入は、経費支弁者の母国語で構いません。	本学Webサイトより所定の用紙をA4サイズに印刷したものをういて、必要項目を記入してください。(白黒/カラー問いません)
⑦	・日本に在留している場合: 日本語学校、専門学校、所属する学校等の在籍証明書	高等学校や大学卒業後、日本国内の学校に在籍している場合は、提出してください。

※提出されたエントリー書類等は返却しません。

※エントリー書類の内容を確認するために、第三者(大使館、出身学校、日本語学校など)に照会することがあります。

在留資格「留学」の取得について

日本に在留している場合

入学までに在留期限が切れる方は、入学手続と併せて、在留期間の更新が必要です。

在留資格の更新は、在留期間満了日の3か月前から可能です。

入学前に速やかに各自で更新手続を行ってください。

在留資格の更新の書類で、所属機関として本学の書類が必要な場合は、入学手続の完了確認後に対応します。

本学が作成する書類(所属機関作成用)を希望される方は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了させて、下記までお問い合わせください。

日本に在留していない場合

外国籍で日本に居住していない(在留資格を持っていない)方は、入学手続と併せて、在留資格の取得が必要です。

「留学」の在留資格申請のためには、まず代理人(名古屋芸術大学)が、日本国内の出入国在留管理庁(入国管理局)に「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行います。詳細については、合格者へ送付する案内文書で確認してください。

在留資格の申請に必要な資料の作成は、入学手続の完了確認後に対応します。

本学が作成する書類(所属機関作成用)を希望される方は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了させて、下記までお問い合わせください。

[お問い合わせ先]

広報部国際交流チーム TEL:0568-24-0318 TEL(海外から):+81-568-24-0318 E-mail:ml-nua@nua.ac.jp

入学試験概要

【総合型選抜】

総合型選抜入学試験(1期～4期)

オンライン・イブニング入学試験(1期・2期)

【学校推薦型選抜】

一般推薦入学試験

【一般選抜】

一般入学試験(1期・2期)

大学入学共通テスト利用入学試験(1期～3期)

【特別選抜】

エキスパート入学試験

音楽領域プロフェッショナルアーティスト入学試験(1期・2期)

社会人入学試験(1期・2期)

海外帰国生徒入学試験(1期・2期)

3年次編入学試験(1期～3期)

選考方法詳細1(音楽領域)

※総合型選抜入学試験、一般推薦入学試験、一般入学試験、社会人入学試験、海外帰国生徒入学試験、外国人留学生入学試験

選考方法詳細2(音楽領域)

※エキスパート入学試験、音楽領域プロフェッショナルアーティスト入学試験

選考方法詳細3(音楽領域)

※3年次編入学試験

「学習成績の状況(調査書)」得点換算表

名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表

「プラスα加点」について

採点基準・評価の観点等

【総合型選抜】総合型選抜入学試験(1期～4期)

【専願制】

この入学試験では、各学部が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術や知識に基づき、面接や書類、自己表現によって、総合的に評価を行います。詳しくは「アドミSSION・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
 2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
- ※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

〈エントリー時〉 ※1期のみ

- ①大学入学志望理由書 ②活動報告書(任意)

※②は芸術学科(音楽領域、舞台芸術領域、芸術教養領域)、子ども学科のみ対象

〈正式出願時〉

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書 ④活動報告書(任意) ⑤実技曲目記入用紙 ⑥音楽曲伴奏楽譜 ⑦作品(事前提出)

※③および④は1期においてはエントリー時に提出。

※⑤および⑥は音楽領域で志望コースの選考方法により提出を必要とする場合のみ。

※⑦はデザイン領域(文芸・ライティングコース)の志願者は必須。

エントリーのながれ(1期のみ)

- (1) エントリー期間内に、本学Webサイトのエントリーページからエントリー登録を行ってください。(エントリー無料)
- (2) 提出書類郵送期限までに、「大学入学志望理由書」(本学指定様式)を記述のうえ、エントリー用「送付ラベル」(本学指定様式)により提出してください。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学指定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。
(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

※本学指定様式は、本学Webサイトより出力してください。

- (3) 提出書類により、出願資格等の確認を行います。(来学不要)
- (4) 出願資格等の確認ができた方には「エントリー受付通知」をメールで通知します。
- (5) 「エントリー受付通知」を受け取った方は、出願登録期間内に、本学Webサイトのインターネット出願ページから正式出願(出願登録・入学検定料入金・必要書類郵送)をしてください。
- (6) インターネット出願方法等については、「出願から入学手続まで」をご確認ください。

※エントリーは、出願資格等を事前に確認するためのものです。エントリー登録をされていなくても、正式出願時にすべての出願書類を提出し、不備や不足がない場合は出願可能です。

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期・3期・4期〉

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
声楽コース 鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン) 弦管打コース	専門試験(専攻実技)* (約10分・200点)	+	個人面接 (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)
上記および プロフェッショナル アーティストコース以外 のコース	専門試験(小論文)* (50分・200点)				

※詳細内容については、[「選考方法詳細1 \(音楽領域\)」](#)をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
全コース	適性検査(以下より、いずれか1つを選択)	+	集団ディスカッション (約30分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)
	英語* ¹ (50分・100点)				
	小論文* ² (50分・100点)				

〈3期・4期〉

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
全コース	適性検査(小論文)* ² (50分・100点)	+	個人面接 (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※1 「適性検査」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコア提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)

CEFRスコアを提出し、「適性検査」の「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

※2 「小論文」の課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	専門試験(以下より、いずれか1つを選択)	+	個人面接 (約10分・100点)
	オリジナルな表現テスト* ¹ (4時間・200点)		
	自己作品持参によるプレゼンテーション* ² (約10分・200点)		
	小論文* ³ (50分・200点)		

〈2期・3期・4期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	専門試験(自己作品持参によるプレゼンテーション)* ² (約10分・200点)	+	個人面接 (約10分・100点)

※1 「オリジナルな表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する自分の考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。

※2 「自己作品持参によるプレゼンテーション」は、ポートフォリオおよび作品(現物)2点程度持参してください。

※3 「小論文」の課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期〉

コース	選考方法①	選考方法②
全コース	専門試験(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 (約10分・100点)
	考え方の表現テスト ^{※1} (4時間・200点)	
	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※2} (約10分・200点)	
	小論文 ^{※3} (50分・200点)	

〈2期・3期・4期〉

コース	選考方法①	選考方法②
全コース	専門試験[自己作品持参によるプレゼンテーション] ^{※2} (約10分・200点)	+ 個人面接 (約10分・100点)

※1 「考え方の表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。

※2 「自己作品持参によるプレゼンテーション」は、3年以内に制作した作品のポートフォリオ(サイズは自由)または現物5点以上持参してください。
「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリー漫画等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ**事前提出**すること

※3 「小論文」の課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
リベラルアーツコース	適性検査[英語] ^{※1} (50分・100点)	+ 小文記述 ^{※2} (30分) 個人面接(約10分) (合計:100点)	+ プラスα加点 (最大50点)

〈3期・4期〉

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
リベラルアーツコース	適性検査[小論文] ^{※3} (50分・100点)	+ 個人面接 (約10分・100点)	+ プラスα加点 (最大50点)

※1 「適性検査」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)

CEFRスコアを提出し、「適性検査」の「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

※2 「小文記述」は、個人面接開始前に実施し、それに基づき面接を行います。

※3 「小論文」の課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
全コース	適性検査(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 (約10分・100点)	+ プラスα加点 (最大50点)
	プレゼンテーション ^{※1} (約10分・100点)		
	英語 ^{※2} (50分・100点)		
	小論文 ^{※3} (50分・100点)		

〈3期・4期〉

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
全コース	適性検査(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 (約10分・100点)	+ プラスα加点 (最大50点)
	プレゼンテーション ^{※1} (約10分・100点)		
	小論文 ^{※3} (50分・100点)		

※1 プレゼンテーションは、次の5つの枠から1つを選択し、説明と実演を併せて10分程度で実施してください。

「音楽」……………独唱、弾き歌い、楽器演奏などのプレゼンテーション

「身体表現」……………子ども向け遊戯、ダンス、柔軟性表現などのプレゼンテーション

「ことば表現」……………絵本・物語の読み聞かせ、紙芝居などのプレゼンテーション

「造形・図工」……………造形物、絵画、工作物などの作品現物の持参によるプレゼンテーション

「その他の特技等」…幼稚園、保育園、小学校における指導に関わる資格や特技の実演やプレゼンテーション

※2 「適性検査」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)

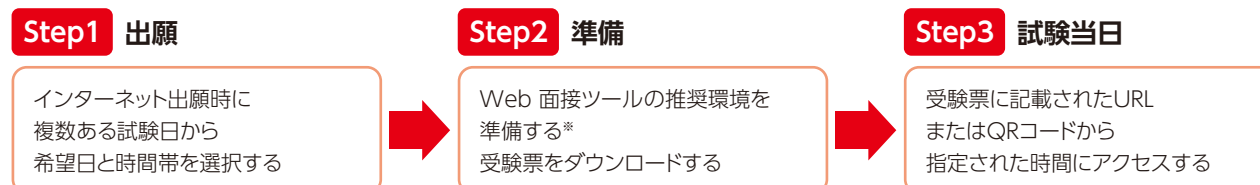
CEFRスコアを提出し、「適性検査」の「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

※3 「小論文」の課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

【総合型選抜】オンライン・イブニング入学試験(1期・2期) 〔併願制〕

総合型選抜1期、2期において、平日(月～金曜日)17時～21時の時間帯で希望の日時を選択してオンライン(Web面接ツール)で受験できる入学試験です。(来学不要)

オンライン・イブニング入試のながれ



※ Web面接ツールの推奨環境については、本学Web ページをご確認ください。

募集学部・学科・領域

- 芸術学部 芸術学科
〈芸術教養領域〉
- 教育学部 子ども学科

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの

※ (6) で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

〈エントリー時〉 ※1期のみ

- ①大学入学志望理由書 ②活動報告書(任意)

〈正式出願時〉

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書 ④活動報告書(任意)

※③および④は1期においてはエントリー時に提出。

エントリーのながれ(1期のみ)

- (1)エントリー期間内に、本学Webサイトのエントリーページからエントリー登録を行ってください。(エントリー無料)
- (2)提出書類郵送期限までに、「大学入学志望理由書」(本学指定様式)を記述のうえ、エントリー用「送付ラベル」(本学指定様式)により提出してください。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学指定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。
(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

※本学指定様式は、本学Webサイトより出力してください。

- (3)提出書類により、出願資格等の確認を行います。(来学不要)
- (4)出願資格等の確認ができた方には「エントリー受付通知」をメールで通知します。
- (5)「エントリー受付通知」を受け取った方は、出願登録期間内に、本学Webサイトのインターネット出願ページから正式出願(出願登録・入学検定料入金・必要書類郵送)をしてください。
- (6)インターネット出願方法等については、「出願から入学手続まで」をご確認ください。

※エントリーは、出願資格等を事前に確認するためのものです。エントリー登録をされていなくても、正式出願時にすべての出願書類を提出し、不備や不足がない場合は出願可能です。

選考方法

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
リベラルアーツコース	適性検査(小論文(事前課題))(100点)	+	個人面接 (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※個人面接において、カメラ付きの端末(PC又はスマートフォン)とインターネット接続環境が必要となります。(Web面接ツールはブラウザ型システムのためアプリのダウンロード不要)

●適性検査:小論文(事前課題)

次の課題1～3の内容について、市販の400字づめ原稿用紙4枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

- 1) コロナ禍以前の自身の生活と、コロナ禍の中での自身の生活の、共通点と相違点を600字程度で記述してください。
- 2) 自分以外の人々が、コロナ禍でどのようなことに困り、どのようなことに楽しみを見出しているかを400字程度で記述してください。
- 3) 上記2つの質問を踏まえたうえで、芸術や学問を含む文化が、自身を含む人々に果たす役割を具体的に600字程度で記述してください。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
全コース	適性検査(以下より、いずれか1つを選択)	+	個人面接 (約10分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点)
	プレゼンテーション(約10分・100点)				
	小論文(事前課題)(100点)				

※適性検査のプレゼンテーションおよび個人面接において、カメラ付きの端末(PC又はスマートフォン)とインターネット接続環境が必要となります。(Web面接ツールはブラウザ型システムのためアプリのダウンロード不要)

●適性検査:プレゼンテーション

プレゼンテーションは、次の5つの枠から1つを選択し、説明と実演を併せて10分程度で実施してください。

「音楽」…………… 独唱、弾き歌い、楽器演奏などのプレゼンテーション

「身体表現」…………… 子ども向け遊戯、ダンス、柔軟性表現などのプレゼンテーション

「ことば表現」…………… 絵本・物語の読み聞かせ、紙芝居などのプレゼンテーション

「造形・図工」…………… 造形物、絵画、工作物などの作品現物の持参によるプレゼンテーション

「その他の特技等」… 幼稚園、保育園、小学校における指導に関わる資格や特技の実演やプレゼンテーション

●適性検査:小論文(事前課題)

小論文は、次の課題内容について、市販の400字づめ原稿用紙2枚程度にまとめ、出願時に提出する。(出願書類に同封すること)

【課題】

子ども達は、保育所や幼稚園、小学校や中学校で、仲間や友だちと共に、学習や遊び、様々な生活を通して育ちます。そして、教師や保育者は、集団や仲間・友だち関係(かかわり)を育てつつ、子ども一人ひとりの望ましい育ちをうながします。

そこで、子ども達にとって、小学校や中学校(児童・生徒)、保育所や幼稚園(乳幼児)で、仲間や友だちと生活することがどうして大切なのか、そのために、教師や保育者にはどのようなことが求められ、また、行うことが必要なのかについて、**A、Bのいずれかを選択し、自分の経験を踏まえ、考えを述べなさい。**

A:(児童・生徒)小学校や中学校における学習や部活動の場面で。

B:(乳幼児)保育所や幼稚園における保育活動や遊びの場面で。

【学校推薦型選抜】一般推薦入学試験

〔併願制〕

この入学試験は、在卒学校の推薦に基づき、課題や作品および面接や書類審査によって、基本となる学びに対する姿勢やその適性に関する評価を行います。詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

美術領域では、Ⅰ類～Ⅳ類に分類された各コースにおいて、第1志望と異なる他類のコースを第2志望として選択が可能です。(第1志望のみでも構いません。) 〈例〉 第1志望:現代アートコース(Ⅱ類) 第2志望:工芸コース(Ⅲ類)

美術領域 分類

(Ⅰ類:日本画コース、Ⅱ類:洋画コース、現代アートコース、Ⅲ類:コミュニケーションアートコース、工芸コース、Ⅳ類:美術総合コース)

(第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。)

出願資格

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者で、学業成績優良で出身学校長の推薦を受けた者(卒業見込み・既卒は問わない)
2. 本学が提示した推薦基準を満たす者

推薦基準

学部・学科・領域		全体の学習成績の状況(5段階評価)
芸術学部 芸術学科	音楽領域	問わない
	舞台芸術領域	3.8以上
	美術領域	3.0以上
	デザイン領域	3.2以上
	芸術教養領域	3.5以上
教育学部 子ども学科		3.0以上

※10段階評価の場合は5段階に換算します。

※卒業見込み者は最終学年の1学期または前期までのもの。既卒者は高等学校最終学年までの全体平均値を対象とします。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③大学入学志望理由書 ④活動報告書(任意) ⑤推薦書
⑥実技曲目記入用紙 ⑦作品提出記入用紙 ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨作品(事前提出)

※⑥～⑨は音楽領域で志望コースの選考方法により提出を必要とする場合のみ。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学指定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

「学習成績の状況」得点換算表

「学習成績の状況」の得点は以下の得点換算表に基づきます。(※音楽領域を除く)

学習成績の状況 得点換算表					
評定平均	得点	評定平均	得点	評定平均	得点
5.0	100.0	4.3	82.5	3.6	65.0
4.9	97.5	4.2	80.0	3.5	62.5
4.8	95.0	4.1	77.5	3.4	60.0
4.7	92.5	4.0	75.0	3.3	57.5
4.6	90.0	3.9	72.5	3.2	55.0
4.5	87.5	3.8	70.0	3.1	52.5
4.4	85.0	3.7	67.5	3.0	50.0

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

コース	選考方法①*		選考方法②		選考方法③
声楽コース 鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン) 弦管打コース	専門試験(専攻実技) (約10分・200点)				
ウインドアカデミーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・楽器演奏(約10分・200点) ・指揮実技(約10分・200点) ・小論文(50分・200点)				
ポップス・ロック&パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・ヴォーカル(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点)				
ワールドミュージック・カルチャーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・楽器演奏(約10分・200点) ・小論文(50分・200点)				
ミュージカルコース	専門試験 [ヴォーカル・パート] [ダンス・パート] (各パート約10分・合計200点)				
ダンスパフォーマンスコース	専門試験[ダンス・パート] (約10分・200点)	+	個人面接 (約10分・100点)	+	プラスα加 点 (最大50点)
声優アクティングコース	専門試験[表現力] (約10分・200点)				
サウンドメディア・コンポジションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点) ・作品提出[事前提出] (200点) ・小論文(50分・200点)				
ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	専門試験[小論文] (50分・200点)				
音楽ケアデザインコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点)				
音楽総合コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点) ・作品提出[事前提出] (200点) ・小論文(50分・200点)				

※詳細内容については、[「選考方法詳細1 \(音楽領域\)」](#)をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③		選考方法④
全コース	基礎学力検査(英数国) (50分・100点)	+	集団ディスカッション (約30分・100点)	+	学習成績の状況 (最大100点)	+	プラスα加 点 (最大50点)

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③		選考方法④
全コース	専門試験または基礎学力検査 (以下より、いずれか1つを選択)	+	個人面接 ^{※3・4} (約10分・100点)	+	学習成績の状況 (最大100点)	+	プラスα加点 (最大50点)
	・実技(鉛筆デッサン) ^{※1} (6時間・200点)						
	・実技(木炭デッサン) ^{※1} (6時間・200点)						
	・オリジナルな表現テスト ^{※2} (4時間・200点)						
	・基礎学力検査[英数国](50分・200点)						

※1 「実技試験」選択者は、実技で使用する描画用具一式を持参すること。なお、実技試験で使用する木炭紙、画用紙(65×50cm)、およびデッサンで使用するカルトンは本学で用意します。

※2 「オリジナルな表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する自分の考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。

※3 「個人面接」の資料として、ポートフォリオ等、自己アピール資料があれば持参可。

※4 「実技(鉛筆デッサン)」「実技(木炭デッサン)」の受験者は、「個人面接」を実技試験中に実施します。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③		選考方法④
先端メディア表現コース	構想表現テスト ^{※1} (作品制作:3時間+プレゼンテーション:10分・200点)	+	個人面接 ^{※4} (約10分・100点)	+	学習成績の状況 (最大100点)	+	プラスα加点 (最大50点)
文芸・ライティングコース	文章表現テスト ^{※2} (3時間・200点)						
上記以外	鉛筆デッサン ^{※3} (3時間・200点)						

※1 「構想表現テスト」は、与えられたテーマに対してアイデアを構想し、作品を制作します。その内容をプレゼンテーションでわかりやすく伝える表現力を問うものです。

※2 「文章表現テスト」は、与えられた課題に基づき、文章による作品を創作する試験です。筆記用具を持参してください。

※3 「鉛筆デッサン」選択者は、実技で使用する用具一式を持参すること。なお、実技で使用する用紙は本学で用意します。

※4 「個人面接」の資料として、ポートフォリオ、自己アピール資料があれば持参可。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③		選考方法④
リベラルアーツ コース	基礎学力検査[英数国] (50分・100点)	+	小文記述 [※] (30分) 個人面接(約10分) (合計:100点)	+	学習成績の状況 (最大100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

※「小文記述」は、個人面接開始前に実施し、それに基づき面接を行います。

教育学部 子ども学科

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③		選考方法④
全コース	基礎学力検査[英数国] (50分・100点)	+	個人面接 (約10分・100点)	+	学習成績の状況 (最大100点)	+	プラスα加点 (最大50点)

【一般選抜】一般入学試験(1期・2期)

〔併願制〕

この入学試験は、高等学校等でこれまで身につけてきたスキルや学力について、実技や作品、学力試験や面接などを通じて、総合的に評価を行います。詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

美術領域では、Ⅰ類～Ⅳ類に分類された各コースにおいて、第1志望と異なる他類のコースを第2志望として選択が可能です。(第1志望のみでも構いません。) 〈例〉 第1志望:現代アートコース(Ⅱ類) 第2志望:工芸コース(Ⅲ類)

美術領域 分類

(Ⅰ類:日本画コース、Ⅱ類:洋画コース、現代アートコース、Ⅲ類:コミュニケーションアートコース、工芸コース、Ⅳ類:美術総合コース)

(第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書(任意)
 ④実技曲目記入用紙 ⑤作品提出記入用紙 ⑥声楽曲伴奏楽譜 ⑦作品(事前提出)
 ※③は美術領域、デザイン領域志願者(2期のみ)。
 ※④～⑦は音楽領域で志望コースの選考方法により提出を必要とする場合のみ。
 ※⑦はデザイン領域(文芸・ライティングコース)の志願者は必須(2期のみ)。

〈プラスα加点を希望する場合〉

高校3年次に至るまでの志望する学科・領域・コースの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定等があり、かつ「プラスα(最大50点)」の加点を希望する場合は、併せて「活動報告書」(本学指定様式)にて提出してください。最大50点を加点します。(※詳しくは「プラスα加点について」をご覧ください)

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法① ^{※1}	選考方法②
声楽コース	専門試験(専攻実技(約10分・100点)+副科ピアノ(約10分・50点)+楽典(50分・50点))	+ 個人面接 (約10分・100点)
鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)	専門試験(専攻実技(約10分・150点)+楽典(50分・50点))	
弦管打コース	専門試験(専攻実技(約10分・100点)+副科ピアノ [*] (約10分・50点)+楽典(50分・50点)) [*] ギター志願者は免除	
ウインドアカデミー コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・楽器演奏(約10分・200点) ・指揮実技(約10分・200点) ・小論文(50分・200点)	
ポップス・ロック& パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択 ・ヴォーカル(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点)	
ワールドミュージック・ カルチャーコース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・楽器演奏(約10分・200点) ・小論文(50分・200点) ・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	
ミュージカルコース	専門試験 [ヴォーカル・パート] [ダンス・パート] (各パート約10分・合計200点)	
ダンスパフォーマンス コース	専門試験(ダンス・パート)(約10分・200点)	
声優アクティング コース	専門試験(表現力)(約10分・200点)	
サウンドメディア・ コンポジションコース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点) ・作品提出[事前提出](200点) ・小論文(50分・200点) ・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	
ミュージック エンターテインメント・ ディレクションコース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・小論文(50分・200点) ・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	
音楽ケアデザイン コース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点) ・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	
音楽総合コース	専門試験または学科試験 以下より、いずれか1つを選択 ・歌唱(約10分・200点) ・楽器演奏(約10分・200点) ・作品提出[事前提出](200点) ・小論文(50分・200点) ・学科試験 ^{※2} (100分・200点)	

※1 詳細内容については、[「選考方法詳細1\(音楽領域\)」](#)をご覧ください。

※2 「学科試験」の1期は「英語^{※3}」「数学」「国語」「地理歴史」から2科目受験、2期は「英語^{※3}」「数学」「国語」から2科目受験

※3 「学科試験」の「英語」は、本学 CEFR(セファール)基準のスコア提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)

〈学科試験の出題範囲〉

「英語:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ」「数学:数学Ⅰ・A」「国語:国語総合(漢文を除く)」

「地理歴史:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目(※1期のみ)」

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期〉

コース	選考方法
全コース	学科試験 ^{*1} 〔英語〕〔数学〕〔国語〕〔地理歴史〕から2科目受験(100分・200点)

〈2期〉

コース	選考方法
全コース	学科試験 ^{*1} 〔英語〕〔数学〕〔国語〕から2科目受験し、いずれか高得点であった1科目で可否を決定(100分・100点)

※1 「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を可否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔数学〕:数学Ⅰ・A〕〔国語〕:国語総合(漢文を除く)〕

〔地理歴史〕:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目(※1期のみ)〕

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期〉

コース	選考方法①	選考方法②
全コース	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 ^{*4・5} (約10分・100点)
	・実技(水彩) ^{*1} (6時間・200点)	
	・実技(油彩) ^{*1} (6時間・200点)	
	・実技(鉛筆デッサン) ^{*1} (6時間・200点)	
	・実技(木炭デッサン) ^{*1} (6時間・200点)	
	・オリジナルな表現テスト ^{*2} (4時間・200点)	
	・学科試験 ^{*3} 〔英語〕〔数学〕〔国語〕〔地理歴史〕から2科目受験(100分・200点)	

- ※1 「実技試験」選択者は、実技で使用する描画用具一式を持参すること。なお、実技試験で使用する木炭紙、画用紙(65×50cm)、およびデッサンで使用するカルトンは本学で用意します。
- ※2 「オリジナルな表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する自分の考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。
- ※3 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を可否判定に反映します。
- ※4 「個人面接」の資料としてポートフォリオ等、自己アピール資料があれば持参可。
- ※5 「実技(鉛筆デッサン)」「実技(木炭デッサン)」の受験者は、「個人面接」を実技試験中に実施します。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔数学〕:数学Ⅰ・A〕〔国語〕:国語総合(漢文を除く)〕〔地理歴史〕:日本史Bまたは世界史Bのいずれか〕

〈2期〉

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
全コース	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)	+ 個人面接 (約10分・100点)	+ プラスα加点 (最大50点)
	・自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3} (約10分・200点)		
	・学科試験 ^{*4} 〔英語〕〔数学〕〔国語〕から2科目受験(100分・200点)		

- ※1 日本画コース、洋画コース、現代アートコースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサンいずれも可。ただし、2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による作品2点以上を持参すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。
- ※4 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を可否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

〔英語〕:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ〕〔数学〕:数学Ⅰ・A〕〔国語〕:国語総合(漢文を除く)〕

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期〉

コース	選考方法
先端メディア表現コース	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)
	・「構想表現テスト」 ^{*1} (作品制作:3時間+プレゼンテーション:10分・200点)
	・学科試験 ^{*8} 〔「英語」「数学」「国語」「地理歴史」から2科目受験〕(100分・200点)
文芸・ライティングコース	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)
	・「文章表現テスト」 ^{*2} (4時間・200点)
	・学科試験 ^{*8} 〔「英語」「数学」「国語」「地理歴史」から2科目受験〕(100分・200点)
上記以外	専門試験または学科試験(以下より、いずれか1つを選択)
	・「鉛筆デッサン」 ^{*3} (4時間・200点)
	・「考え方の表現テスト」 ^{*4} (4時間・200点)
	・「色彩構成テスト」 ^{*5} (4時間・200点)
	・「立体構成テスト」 ^{*6} (4時間・200点)
	・「自己表現力テスト」 ^{*7} (約15分・200点)
	・学科試験 ^{*8} 〔「英語」「数学」「国語」「地理歴史」から2科目受験〕(100分・200点)

- ※1 「構想表現テスト」は、与えられたテーマに対してアイデアを構想し、作品を制作します。その内容をプレゼンテーションでわかりやすく伝える表現力を問うものです。
- ※2 「文章表現テスト」は、与えられた課題に基づき、文章による作品を創作する試験です。
- ※3 「鉛筆デッサン」選択者は、実技で使用する用具一式を持参すること。なお、実技で使用する用紙は本学で用意します。
- ※4 「考え方の表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。
- ※5 「色彩構成テスト」で受験する場合、鉛筆、消しゴム、定規(直・三角)、はさみ、カッターナイフ(サークルカッターは除く)を持参すること。なお、着色等に用いる画材は本学で用意します。
- ※6 「立体構成テスト」で受験する場合、鉛筆、消しゴム、定規(直・三角)、はさみ、カッターナイフ(サークルカッターは除く)を持参すること。
- ※7 「自己表現力テスト」は、受験者1名が15分の自己アピールを行います。自己アピールに用いる持参作品の形式は基本的に自由です(平面作品、立体作品、映像作品、その他多様な表現による作品を持参することが可能)が、あらかじめその形式を出願の際、備考欄に記入してください。なお、形式が映像等のメディア作品のような再生装置を必要とする場合は、再生装置も持参してください。
- ※8 「学科試験」の「英語」は本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

「英語:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ」「数学:数学Ⅰ・A」「国語:国語総合(漢文を除く)」 「地理歴史:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目」

〈2期〉

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1} (約10分・200点)	+	個人面接 ^{*2} (約10分・100点)	+	プラスα加算(最大50点)

- ※1 「自己作品持参によるプレゼンテーション」は、3年以内に制作した作品のポートフォリオ(サイズは自由)または現物5点以上持参してください。「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※2 「個人面接」の資料として、ポートフォリオ、自己アピール資料があれば持参可。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期〉

コース	選考方法
リベラルアーツコース	学科試験 [*] 〔「英語」「数学」「国語」「地理歴史」から2科目受験〕(100分・200点)

〈2期〉

コース	選考方法
リベラルアーツコース	学科試験 [*] 〔「英語」「数学」「国語」から2科目受験し、いずれか高得点であった1科目で合否を決定〕(100分・100点)

- ※「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR対照表」を参照)
CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

「英語:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ」「数学:数学Ⅰ・A」「国語:国語総合(漢文を除く)」

「地理歴史:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目(※1期のみ)」

教育学部 子ども学科

〈1期〉

コース	選考方法
全コース	学科試験※〔「英語」「数学」「国語」「地理歴史」から2科目受験〕(100分・200点)

〈2期〉

コース	選考方法
全コース	学科試験※〔「英語」「数学」「国語」から2科目受験し、いずれか高得点であった1科目で合否を決定(100分・100点)

※「学科試験」の「英語」は、本学CEFR(セファール)基準のスコアの提出による受験免除可。(詳細は、「CEFR 対照表」を参照)

CEFRスコアを提出し、「英語」を受験した場合は、両方のうち、高得点を取得した結果を合否判定に反映します。

〈学科試験の出題範囲〉

「英語:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ」「数学:数学Ⅰ・A」「国語:国語総合(漢文を除く)」

「地理歴史:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目(※1期のみ)」

【一般選抜】大学入学共通テスト利用入学試験(1期～3期) 【併願制】

この入学試験は、各学科・領域が求める基礎的な学力や理解度について、主に大学入学共通テストの結果により評価を行います。個別学力検査の実施はありません。(来学は不要です。)詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者で、「令和4年度大学入学共通テスト」の教科(科目)で、本学が指定した教科(科目)を受験した者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣が指定した者
- (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
- (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③個人報告書

※③は音楽領域(声優アクティングコース、ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース、音楽総合コースを除く)、舞台芸術領域志願者のみ

本学が利用する大学入学共通テスト科目一覧

以下の6教科30科目を利用します。

教科	科目
国語	「国語」
外国語	「英語(リスニングを含む)」 「中国語」 「フランス語」 「ドイツ語」 「韓国語」
地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」
公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」
数学	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」
理科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」

※国語の解答範囲は、芸術学科は近代以降の文章のみ(古文・漢文は除く)を採用します。子ども学科は全問(現代文・古文・漢文)を採用します。

※外国語は100点満点に換算します(英語はリーディング50点、リスニング50点に換算)。

※理科基礎科目は2科目受験で1教科とみなします。

※過年度の大学入試センター試験や大学入学共通テストの成績は利用できません。

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①	選考方法②
声優アクティングコース ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース 音楽総合コース	高得点2教科2科目を採用(200点)	—
上記、プロフェッショナルアーティストコース以外のコース	高得点2教科2科目を採用(200点)	個人報告書(200点)

〈3期〉

コース	選考方法①	選考方法②
声優アクティングコース ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース 音楽総合コース	高得点1教科1科目を採用(100点)	—
上記、プロフェッショナルアーティストコース以外のコース	高得点1教科1科目を採用(100点)	個人報告書(200点)

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①	選考方法②
全コース	高得点2教科2科目を採用(200点)	個人報告書(100点)

〈3期〉

コース	選考方法
全コース	高得点1教科1科目を採用(100点)

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法
全コース	高得点2教科2科目を採用(200点)

〈3期〉

コース	選考方法
全コース	高得点1教科1科目を採用(100点)

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法
全コース	高得点2教科2科目を採用(200点)

〈3期〉

コース	選考方法
全コース	高得点1教科1科目を採用(100点)

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法
リベラルアーツコース	高得点2教科2科目を採用(200点)

〈3期〉

コース	選考方法
リベラルアーツコース	高得点1教科1科目を採用(100点)

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③	選考方法④*
全コース	国語(現代文・古文・漢文)(100点)	数学(I・A)(II・B)(100点)	外国語(100点)	地理歴史、公民、理科から1科目(100点)

※選考方法④は、「地理歴史」「公民」「理科」のうち高得点1教科1科目を採用(理科①基礎科目は2科目受験の合計点)

〈3期〉

コース	選考方法
全コース	高得点3教科3科目を採用(300点)

【特別選抜】エキスパート入学試験

〔併願制〕

エキスパート入学試験とは、志願する学科・領域の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。

なお、この入学試験では「**特待生**」を選抜する入学試験ですので、入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなり、「特待合格」であった場合、入学金を除く学納金(授業料、教育充実費、実習費)が免除となります。(入学初年次のみ。2年次以降の授業料免除については、別に定める授業料免除のための継続条件に基づいて毎年審査を行い、条件を満たした場合に該当となります。)

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする場合は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで申し出てください。
4. 外国において、次のいずれかの資格を2020年または2021年に取得した者
 - (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から大学入学資格として認められている国際バカロレア資格
 - (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - (4) グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③その他、個別提出書類

※③は各学科・領域の選考方法に記載

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

コース	選考方法①※		選考方法②
声楽コース	リサイタル形式のコンサートの実施 (合計45分以上70分以内・300点)	+	—
鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)			
弦管打コース			
ウインドアカデミーコース			
ポップス・ロック&パフォーマンスコース	2つ以上の音楽ジャンル作品を組み合わせた パフォーマンスの実施(30分程度・300点)		
ワールドミュージック・カルチャーコース			
ミュージカルコース	受験者自身がプロデュースした パフォーマンスの実施 (30分程度・300点)		
ダンスパフォーマンスコース			
声優アクティングコース			
サウンドメディア・コンポジションコース	作品提出(作曲、録音、音響)および口頭で説明 (30分程度・300点)		
ミュージックエンターテインメント・ ディレクションコース	令和4年度大学入学共通テスト 〔「国語」「外国語(英語)」〕(200点)		受験者自身が企画制作したプロジェクトの 報告書提出および口頭で説明 (30分・100点)
音楽ケアデザインコース	令和4年度大学入学共通テスト 〔「国語」「外国語(英語)」〕(200点)	+	臨床即興演奏(3曲程度)および口頭で説明 (演奏20分＋論述約10分・100点)
音楽総合コース	上記いずれか1つのコースの課題を選択(300点)		

※詳細内容については、[「選考方法詳細2\(音楽領域\)」](#)(エキスパート入学試験)をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③		選考方法④		選考方法⑤
全コース	事業企画 (120分・100点)	+	プレゼンテーション資料作成 (90分・100点)	+	プレゼンテーション (約15分・100点)	+	個人面接 (約15分・100点)	+	プラスα加点 (最大50点) 外国語に関する 能力について加点

〈個別提出書類〉

活動報告書(様式は不問。本学所定の様式を活用しても可)

〈選考方法詳細〉

選考方法①は、企画のためのワークショップに参加し、グループ或いは個人で舞台芸術に関する事業を企画します。

※ワークショップのファシリテーターは教員が担当します。

※企画に向けた必要情報収集のための資料(紙媒体、情報機器端末*)、プレゼンテーション資料作成のための情報機器端末*の持ち込みを許可します。

(注意: ネットワーク接続環境および電源は大学のもので使用できませんので各自準備すること)

選考方法②は、①で企画した内容をプレゼンテーションするための資料を作成します。

※プレゼンテーションでパソコンからデータを出力する場合は、プロジェクターとスクリーンを本学で用意します。

※プレゼンテーション資料を紙媒体で作成する場合は、ペンとスケッチブック等を本学で用意します。

選考方法③は、②で作成した資料を使ってプレゼンテーションしてもらいます。

〈選考ポイント〉

選考方法①では、コミュニケーションを取りながらリーダーシップを発揮したり、チーム内の調整を図ったりする能力、論理的かつ独創的な思考、他者や社会全般に対する理解力や創造力を重視します。

選考方法②③では、考えたことをわかりやすくまとめ、論理的に表現する力を重視します。

選考方法④では、批判的思考で自己を見つめる力を重視します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記用具 ③情報収集、資料作成に必要な資料および情報機器端末*(任意)

* 情報機器端末: パソコン、タブレット、スマートフォン等

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
全コース	基礎力検査+小論文(800字程度) (90分・100点)	+	基礎デッサン (180分・100点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーションおよび個人面接 (約30分・100点)

〈個別提出書類〉

なし

〈選考方法詳細〉

選考方法①は、いずれも美術に関する設問

選考方法②のモチーフは1点

選考方法③は、自己作品3点とポートフォリオを当日持参すること

〈選考ポイント〉

各選考方法で判定された内容を総合的に判断して評価を行います。

選考方法①は、美術を学ぶための知識と意欲が備わっているか。

選考方法②は、基礎的な技術を備え、自分の考えを効果的に描写するための表現力が備わっているか。

選考方法③は、作品制作や制作への想いについて、説得力のある内容であるか。また、美術に関する制作や研究に対して目標意識や熱意を持っているか。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記具 ③デッサン用具 ④自己作品3点 ⑤ポートフォリオ

※デッサンの画用紙は本学で用意します。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
全コース	大学入学志望理由書 (50点)	+	デザインに関する講義聴講による課題 (270分・125点)	+	自己作品持参によるプレゼンテーション および個人面接 (約30分・125点)

〈個別提出書類〉

大学入学志望理由書(任意様式)

〈選考方法詳細〉

選考方法①は、A4用紙3枚程度を出願書類提出時に提出すること。

選考方法②は、講義を聴き、考え方の表現テストとそれに基づく実制作を実施します。

※「考え方の表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。

選考方法③は、3年以内に制作した作品のポートフォリオ(A3サイズファイル)を当日持参すること。

※ポートフォリオは対外的な活動報告をより重視します。

〈選考ポイント〉

選考方法①では、これまでの活動(制作物や社会活動など)、本学の明確な志望理由として、本学の特徴を理解し、入学後の大学生活で実現してみたいこと、身につけたいこと、卒業後のビジョンが示されているかを判断します。

選考方法②では、講義内容の理解力、要約力、問題発見力、問題解決能力をプロセスシートで、またそれが反映された実制作物によりデザイン能力を判断します。

選考方法③では、自分の考えや制作物に込められた意図を相手に伝えるためのプレゼンテーション能力を判断します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記具 ③ポートフォリオ

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選考方法①	選考方法②
リベラルアーツコース	レポート 〔講義受講(20分)＋文章読解(20分)＋レポート作成(60分)＋口頭発表(2～3分)〕 (200点)	ディスカッション (受験者人数により最大60分・100点)

〈個別提出書類〉

なし

〈選考方法詳細〉

選考方法①の「講義受講」「文章読解」では、日本の大学を志す受験者として相応しい基礎学力と日本語の読解力・聞き取り力をみることを想定しています。日本の高校までの教育で身につけるべき語彙や基礎学力を備えていれば理解可能な講義内容や、読解可能な文章です。

〈選考ポイント〉

選考方法①の「講義受講」「文章読解」では、複雑な物事を把握する力、「レポート作成」「口頭発表」では、自分の頭で考え独創的に発想し、それを表現する力をそれぞれ重視します。

選考方法②では、ディスカッションを通じて表現力や傾聴力等、いわゆる「人と人をつなぐ力」を重視します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記具

教育学部 子ども学科

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
全コース	令和4年度大学入学共通テスト 〔「国語」「数学」「理科」「地理歴史・公民」「外国語」〕 (500点)	当日課題に基づくプレゼンテーション (資料作成90分＋プレゼンテーション15分・250点)	口頭試問 および個人面接 (約15分・250点)

〈個別提出書類〉

- ①大学入学志望理由書(本学所定の様式) ※将来小学校教諭または幼稚園教諭・保育士のいずれの職に就きたいか記述すること
②活動報告書(様式は不問。本学所定の様式を活用しても可)

〈選考方法詳細〉

選考方法①は、令和4年度大学入学共通テストにおいて、以下の教科・科目の受験が必須となります。

「国語」…(現代文、古文、漢文)合計200満点を100点に換算します。

「数学」…数Ⅰ・A必須。数学Ⅱ・B、簿記、情報から1科目選択。数Ⅰ・Aと選択科目合計200点満点を100点に換算します。

「理科」…1科目〔2科目受験者はいずれか高得点1科目〕(100点) ※理科①(基礎科目)は2科目受験の合計点とします。

「地理歴史、公民」…1科目〔2科目受験者はいずれか高得点1科目〕(100点)

「外国語」… 合計200点満点を100点に換算します。(「英語」受験者の場合、リーディングとリスニングの配点比率は1:1とします。)

選考方法②は、小学校教員志望者と幼稚園教諭・保育士志望者とでは課題が異なります。出願時に必ずいずれかを記入してください。

選考方法③の口頭試問はプレゼンテーション内容をもとに行います。個人面接は大学入学志望理由書、活動報告書に記載された内容をもとに行います。

〈選考ポイント〉

選考方法②の当日課題は、小学校教諭志願者用と幼稚園教諭・保育士志願者用に分かれています。それぞれ現代の子ども達を取り巻くさまざまな諸問題に関するものや、現場の授業・保育で実施されている実技などを想定した内容の中からの出題となります。

選考方法③は、理解・分析・考察力、表現力、発表力、態度等について評価をします。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記具 ③プレゼンテーション資料作成用具

【特別選抜】プロフェッショナルアーティスト入学試験(1期・2期)【併願制】

声楽、鍵盤楽器、弦楽器、管楽器、打楽器の専攻実技の教授に特化し、将来、演奏家を目指す学生に対して演奏技術はもちろんのこと、国内外のコンクールやステージの場に積極的に参加させることで、名古屋芸術大学のブランド力を高めることができる学生を養成する「音楽領域 プロフェッショナルアーティストコース」の選抜を行うための入学試験です。

募集学部・学科・領域

●芸術学部 芸術学科

〈音楽領域〉

プロフェッショナルアーティストコース

※声楽コース、鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)、弦管打コースを第2志望として選択が可能です。

(第2志望を選択した場合、2出願分の検定料がかかります。)

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書

④実技曲目記入用紙 ⑤声楽曲伴奏楽譜

※④および⑤は音楽領域で志望コースの選考方法により提出を必要とする場合のみ。

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

対象楽器等	選考方法①*	選考方法②
声楽 鍵盤楽器 弦楽器、管楽器、打楽器	専門試験(指定課題曲の演奏)(200点)	個人面接 (約10～20分・100点)

+

※詳細内容については、[\[選考方法詳細2\(音楽領域\)\]](#)(プロフェッショナルアーティスト入学試験)をご覧ください。

【特別選抜】社会人入学試験(1期・2期)

〔専願制〕

この入学試験は、大学で学びたい、あるいは学び直したいと考える社会人を対象に各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

2022年4月1日現在、満23歳以上の者で社会人として3年以上の経験を有しているもので、下記の1～3のいずれかを満たし、かつ下記4の資格を満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
4. 外国人留学生に該当しない者

※(6)で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書
 ⑥実技曲目記入用紙 ⑦作品提出記入用紙 ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨作品(事前提出)
 ※⑥～⑨は音楽領域志望コースの選考方法により提出を必要とする場合。
 ※⑨はデザイン領域(文芸・ライティングコース)の志願者は必須。

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①*	選考方法②
声楽コース 鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン) 弦管打コース	専門試験(専攻実技)(約10分・200点)	+ 個人面接 (約10分・100点)
ウインドアカデミーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・指揮実技(約10分・200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ポップス・ロック&パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・ヴォーカル(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
ワールドミュージック・カルチャーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ミュージカルコース	専門試験 [ヴォーカル・パート] [ダンス・パート] (各パート約10分・合計200点)	
ダンスパフォーマンスコース	専門試験[ダンス・パート](約10分・200点)	
声優アクティングコース	専門試験[表現力](約10分・200点)	
サウンドメディア・コンポジションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・作品提出[事前提出](200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	専門試験[小論文](50分・200点)	
音楽ケアデザインコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
音楽総合コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・作品提出[事前提出](200点)	
	・小論文(50分・200点)	

※詳細内容については、[「選考方法詳細1\(音楽領域\)」](#)をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①	選考方法②
全コース	小論文*(50分・100点)	+ 個人面接(約10分・100点)

※「小論文」の課題は当日出題。400字づつ原稿用紙2枚程度とする。

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・100点)

※1 日本画コース、洋画コース、現代アートコースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサンいずれも可。ただし、2点以上持参すること。

※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による作品を2点以上持参すること。

※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・100点)

※1 「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点程度。そのうち3点以上はデッサンの作品を試験当日に持参すること。

※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。

※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
リベラルアーツコース	小論文 [*] (50分・100点)	+	個人面接(約10分・100点)

※「小論文」の課題は当日出題。400字づつ原稿用紙2枚程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	小論文 [*] (50分・100点)	+	個人面接(約10分・100点)

※「小論文」の課題は当日出題。400字づつ原稿用紙2枚程度とする。

【特別選抜】海外帰国生徒入学試験(1期・2期)

〔専願制〕

この入学試験は、保護者の勤務に帯同し、海外において異文化体験で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者とともに2年間以上海外に在住し、外国の学校教育を受けた者で、下記の1～4のいずれかを満たす者

1. 外国において、学校教育における12年の課程を2020年4月1日から2022年3月31日までに修了(見込み)の者
2. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に2020年または2021年に合格した者
3. 外国において、下記のいずれかの資格を2020年または2021年に取得した者
 - (1) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルのいずれかの資格認定書を保有する者
 - (2) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSIの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても可。)
 - (3) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者

文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
4. 本学において個別の入学審査により、高等学校の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※4で出願しようとする者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

- ①出願確認票 ②最終学歴の卒業(見込)証明書 ③最終学歴の成績証明書 ④履歴書 ⑤大学入学志望理由書
⑥実技曲目記入用紙 ⑦作品提出記入用紙 ⑧声楽曲伴奏楽譜 ⑨作品(事前提出)

※⑥～⑨は音楽領域志望コースの選考方法により提出を必要とする場合のみ。

※⑨はデザイン領域(文芸・ライティングコース)の志願者は必須。

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①*	選考方法②
声楽コース 鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン) 弦管打コース	専門試験(専攻実技)(約10分・200点)	+ 個人面接 (約10分・100点)
ウインドアカデミーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・指揮実技(約10分・200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ポップス・ロック&パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・ヴォーカル(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
ワールドミュージック・カルチャーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ミュージカルコース	専門試験 [ヴォーカル・パート] [ダンス・パート] (各パート約10分・合計200点)	
ダンスパフォーマンスコース	専門試験[ダンス・パート](約10分・200点)	
声優アクティングコース	専門試験[表現力](約10分・200点)	
サウンドメディア・コンポジションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・作品提出[事前提出](200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	専門試験[小論文](50分・200点)	
音楽ケアデザインコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
音楽総合コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・作品提出[事前提出](200点)	
	・小論文(50分・200点)	

※詳細内容については、[「選考方法詳細1\(音楽領域\)」](#)をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①	選考方法②
全コース	小論文*(50分・100点)	+ 個人面接(約10分・100点)

※「小論文」の課題は当日出題。400字詰め原稿用紙2枚程度とする。

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・100点)

- ※1 日本画コース、洋画コース、現代アートコースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサンいずれも可。ただし、2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による作品を2点以上持参すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・100点)

- ※1 「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点程度。そのうち3点以上はデッサンの作品を試験当日に持参すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
リベラルアーツコース	小論文 [*] (50分・100点)	+	個人面接(約10分・100点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。400字づつ原稿用紙2枚程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	小論文 [*] (50分・100点)	+	個人面接(約10分・100点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。400字づつ原稿用紙2枚程度とする。

【特別選抜】外国人留学生入学試験(1期・2期)

【専願制】

この入学試験は、日本国以外の国籍を持つ外国人留学生で、異文化の教育で身につけた知識や教養、そして個性について、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

下記の1～5のすべてを満たす者

1. 日本国以外の国籍を有する者で、私費または国費による修学が可能な者(日本国永住許可を得ている者や日本国籍を有する二重国籍者は出願不可)
2. 2022年4月1日までに、満18歳に達する者
3. 次のいずれかに該当する者
 - (1) 外国において、学校教育制度における通算12年の課程を修了(卒業)した者および2022年3月31日までに修了(卒業)見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
 - (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルのいずれかの資格認定書を保有する者
 - (4) 国際的な認証団体であるWASC、CIS、ACSIの認定を受けた教育施設において12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者(CISの旧名称でもあるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても可。)
 - (5) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者
文部科学省ホームページをご覧ください。※2019年1月31日付告示の該当者
 - (6) 本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認めた者
4. 出入国管理および難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(「留学」)を取得または更新できる者
5. 次のいずれかの基準を満たしている者
 - ※試験結果は、2019年4月以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。
 - (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
 - (2) 日本留学試験(EJU) [科目:日本語]において、「聴解・聴読解120点以上」かつ「読解120点以上」の得点を取得している者
 - (3) BJTビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者
 - (4) 日本語テストシステム J-CATにおいて、250点以上を取得している者
 - (5) 日本大学連合学力試験 HomeEdition(JPUE_HE) [科目:日本語]において、JLPT「N2」相当以上を取得している者
 - (6) 上記(1)～(5)に示した試験のスコアと同等の日本語力を有することを証明できる者

※日本に在留していない場合:入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類

〈エントリー時〉 提出書類の詳細については、[「外国人留学生の方へ」項目の「提出書類」](#)をご覧ください。

- ①大学入学志望理由書 ②出身学校の卒業(見込)証明書 ③出身学校の成績証明書 ④履歴書 ⑤在留資格を証明する書類
⑥日本語能力レベルを証明する書類 ⑦留学費用支払いに関する証明書(経費支弁書) ⑧日本語学校等の在籍証明書

※⑧は日本国内の学校に在籍している場合。

〈正式出願〉

- ①出願確認票 ②実技曲目記入用紙 ③作品提出記入用紙 ④音楽曲伴奏楽譜 ⑤作品(事前提出)

※②～⑤は音楽領域志望コースの選考方法により提出を必要とする場合のみ。

※⑤はデザイン領域(文芸・ライティングコース)の志願者は必須。

エントリーのながれ

- (1) エントリー期間内に、本学Webサイトのエントリーページからエントリー登録を行ってください。(エントリー無料)
- (2) 提出書類郵送期限までに、エントリー時の「出願書類」一式をエントリー用「送付ラベル」(本学指定様式)により提出してください。
- (3) 提出書類により、出願資格の確認および第一次選考を行います。(来学不要)
- (4) 第一次選考の合格者には「出願許可通知」をメールで通知します。
- (5) 「出願許可通知」を受け取った方は、出願登録期間内に、本学Webサイトのインターネット出願ページから正式出願(出願登録・入学検定料入金・必要書類郵送)をしてください。
- (6) インターネット出願方法等については、[「出願から入学手続まで」](#)をご確認ください。

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①*	選考方法②
声楽コース 鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン) 弦管打コース	専門試験(専攻実技)(約10分・200点)	+ 個人面接 (約10分・100点)
ウインドアカデミーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・指揮実技(約10分・200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ポップス・ロック&パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・ヴォーカル(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
ワールドミュージック・カルチャーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ミュージカルコース	専門試験 [ヴォーカル・パート] [ダンス・パート] (各パート約10分・合計200点)	
ダンスパフォーマンスコース	専門試験[ダンス・パート](約10分・200点)	
声優アクティングコース	専門試験[表現力](約10分・200点)	
サウンドメディア・コンポジションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・作品提出[事前提出](200点)	
	・小論文(50分・200点)	
ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース	専門試験[小論文](50分・200点)	
音楽ケアデザインコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
音楽総合コース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	
	・歌唱(約10分・200点)	
	・楽器演奏(約10分・200点)	
	・作品提出[事前提出](200点)	
	・小論文(50分・200点)	

※詳細内容については、[「選考方法詳細1\(音楽領域\)」](#)をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①	選考方法②
全コース	小論文*(50分・100点)	+ 個人面接(約10分・100点)

※「小論文」の課題は当日出題。400字づつ原稿用紙2枚程度とする。

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・100点)

※1 日本画コース、洋画コース、現代アートコースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサンいずれも可。ただし、2点以上持参すること。

※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による作品を2点以上持参すること。

※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{*1・2・3} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・100点)

※1 「自己作品」は、3年以内に制作した作品5点程度。そのうち3点以上はデッサンの作品を試験当日に持参すること。

※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。

※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
リベラルアーツコース	小論文 [*] (50分・100点)	+	個人面接(約10分・100点)

※「小論文」の課題は当日出題。400字づつ原稿用紙2枚程度とする。

教育学部 子ども学科

〈1期・2期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	小論文 [*] (50分・100点)	+	個人面接(約10分・100点)

※「小論文」の課題は当日出題。400字づつ原稿用紙2枚程度とする。

【特別選抜】3年次編入学試験(1期～3期)

〔専願制〕

この入学試験は、短期大学や専門学校卒業者で更に学びを深めたい者、あるいは、4年制大学に在籍しつつも本学が抱える音楽・美術・デザイン・芸術教養・子ども発達などの5つの学科・領域への専攻変更を希望する者を対象に、既に所定の単位数を取得していることを前提に本学における学びの目的や意欲も含め、各学科・領域が求める学生像に照らし合わせつつ総合的な評価を行います。詳しくは「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

募集学部・学科・領域

●芸術学部 芸術学科

〈音楽領域〉

声楽コース、鍵盤楽器コース(ピアノ・電子オルガン)、弦管打コース、ウインドアカデミーコース、ポップス・ロック&パフォーマンスコース、ワールドミュージック・カルチャーコース、ミュージカルコース、ダンスパフォーマンスコース、声優アクティングコース、サウンドメディア・コンポジションコース、エンターテインメントディレクション&アートマネジメントコース、音楽ケアデザインコース

〈美術領域〉

日本画コース、洋画コース、アートクリエイターコース

〈デザイン領域〉

ヴィジュアルデザインコース、イラストレーションコース、メディアデザインコース、メディアコミュニケーションデザインコース、ライフスタイルデザインコース、スペースデザインコース、インダストリアル&セラミックデザインコース、カーデザインコース、メタル&ジュエリーデザインコース、テキスタイルデザインコース、文芸・ライティングコース

〈芸術教養領域〉

リベラルアーツコース

●人間発達学部 子ども発達学科

出願資格

下記の1～7のいずれかを満たす者で、本学第3年次への編入学を希望する者

1. 日本の大学に2年以上在学(休学・停学期間を除く)し、62単位以上を取得した者および2022年3月末日までに大学に2年以上在学(休学・停学期間を除く)し、62単位以上取得する見込みの者(本学在学者は除く)
2. 日本または外国の大学を卒業し、学士の学位を有する者および2022年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
3. 日本の短期大学または高等専門学校を卒業した者および2022年3月末日までに卒業見込みの者
4. 学校教育法第132条の規定により専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であるものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2022年3月末日までに修了見込みの者
5. 外国において、学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修了した者および2022年3月末日までに修了見込みの者
6. 外国の短期大学を卒業した者または外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2022年3月末日までに修了見込みの者
7. 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること。その他文部科学部大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る)および2022年3月末日までに修了見込みの者

外国人留学生出願資格

前頁出願資格1～7のいずれかを満たす者で、かつ、下記の1～4のすべてを満たす者

1. 日本国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者や日本国籍を有する二重国籍者は出願不可)
2. 2022年4月1日現在満20歳以上の者
3. 出入国管理および難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(「留学」)を取得または更新できる者
4. 次のいずれかの基準を満たしている者

※試験結果は、2019年4月以降に受験し、出願時まで取得したものを有効とします。

- (1) 日本語能力試験(JLPT)の「N1」または「N2」に合格している者
- (2) 日本留学試験(EJU) [科目:日本語]において、「聴解・聴読解120点以上」かつ「読解120点以上」の得点を取得している者
- (3) BJT ビジネス日本語能力テストにおいて、400点以上の得点を取得している者
- (4) 日本語テストシステム J-CATにおいて、250点以上を取得している者
- (5) 日本大学連合学力試験 HomeEdition(JPUE_HE) [科目:日本語]において、JLPT「N2」相当以上を取得している者
- (6) 上記(1)～(5)に示した試験のスコアと同等の日本語力を有することを証明できる者

※日本に在留していない場合:入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

出願書類

〈エントリー時〉 ※外国人留学生の方は、[「外国人留学生の方へ」項目の「提出書類」](#)に該当する書類も併せて提出してください。

- ①最終学歴の卒業(見込)証明書^{*1}
- ②最終学歴の成績証明書^{*1}
- ③大学入学志望理由書
- ④履歴書

〈正式出願〉

- ①出願確認票
- ②実技曲目記入用紙
- ③作品提出記入用紙
- ④声楽曲伴奏楽譜
- ⑤作品(事前提出)

※②～⑤は音楽領域志望コースの選考方法により提出を必要とする場合、⑤はデザイン領域文芸・ライティングコース志願者は必須。

※1 出願資格に応じて以下の書類を提出してください。

- a. 大学、短期大学、高等専門学校等を卒業・修了した者、または2021年3月までに卒業・修了見込の者
→ **卒業・修了(見込)証明書および成績証明書**
- b. 大学2年次以上に在学し、62単位以上を修得した者、または2021年3月までに修得見込の者
→ **在学証明書、単位修得(見込)証明書および成績証明書**
- c. 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上または62単位以上であること)を修了した者、または2021年3月までに修了見込の者
→ **専門課程修了(見込)証明書(専門士の資格が取得できる旨が付記されたもの)および成績証明書**

エントリーのながれ

- (1) エントリー期間内に、本学Webサイトのエントリーページからエントリー登録を行ってください。(エントリー無料)
- (2) 提出書類郵送期限までに、エントリー時の「出願書類」一式をエントリー用「送付ラベル」(本学指定様式)により提出してください。
- (3) 提出書類により、出願資格の確認および第一次選考を行います。(来学不要)
- (4) 第一次選考の合格者には「出願許可通知」をメールで通知します。
- (5) 「出願許可通知」を受け取った方は、出願登録期間内に、本学Webサイトのインターネット出願ページから正式出願(出願登録・入学検定料入金・必要書類郵送)をしてください。
- (6) インターネット出願方法等については、「出願から入学手続まで」をご確認ください。

選考方法

芸術学部 芸術学科 音楽領域

〈1期・2期・3期〉

コース	選考方法① ^{※1}	選考方法②	選考方法③
声乐コース	専門試験 〔専攻実技(約10分・150点)＋副科ピアノ(約10分・50点)〕	+ 個人面接 (約10分・100点)	—
鍵盤楽器コース (ピアノ・電子オルガン)	専門試験〔専攻実技〕(約10分・200点)		
弦管打コース	専門試験 〔専攻実技(約10分・150点)＋副科ピアノ [*] (約10分・50点)〕 [*] ギター志願者は免除		
ウインドアカデミーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
	楽器演奏(約10分・200点)		小論文 (50分・100点)
	指揮実技(約10分・200点)		
	小論文(50分・200点)		—
ポップス・ロック& パフォーマンスコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
	・ヴォーカル(約10分・200点)		
	・楽器演奏(約10分・200点)		
ワールドミュージック・ カルチャーコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択	+ 個人面接 (約10分・100点)	—
	・楽器演奏(約10分・200点)		
	・小論文(50分・200点)		
ミュージカルコース	専門試験 〔ヴォーカル・パート〕 〔ダンス・パート〕 (各パート約10分・合計200点)		
	専門試験〔ダンス・パート〕(約10分・200点)		小論文 (50分・100点)
ダンスパフォーマンスコース	専門試験〔ダンス・パート〕(約10分・200点)		
声優アクティングコース	専門試験〔表現力〕(約10分・200点)		
サウンドメディア・ コンポジションコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
	・歌唱(約10分・200点)		—
	・楽器演奏(約10分・200点)		
	・作品提出〔事前提出〕(200点)		
エンターテインメントディレクション &アートマネジメントコース	・録音編集技術〔事前提出〕(200点)		
	小論文〔事前提出〕(200点)		小論文 (50分・100点)
音楽ケアデザインコース	専門試験 以下より、いずれか1つを選択		
	・歌唱(約10分・200点)		
	・楽器演奏(約10分・200点)		

※1 詳細内容については、[「選考方法詳細3（音楽領域）」](#)(※3年次編入学試験)をご覧ください。

芸術学部 芸術学科 美術領域

〈1期・2期・3期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	自己作品持参によるプレゼンテーション ^{※1・2・3} (約10分・200点)	+	個人面接(約10分・100点)

- ※1 日本画コース、洋画コース、現代アートコースの「自己作品」は、油彩・水彩・デッサンいずれも可。ただし、2点以上持参すること。
- ※2 コミュニケーションアートコース、工芸コース、美術総合コースの「自己作品」は、立体作品、平面作品(イラスト、マンガを含む)、映像作品、その他多様な表現による作品2点以上を持参すること。
- ※3 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

〈1期・2期・3期〉

コース	選考方法①		選考方法②		選考方法③
文芸・ライティングコース	基礎能力テスト[文章力・表現力](3時間・100点)				
メタル&ジュエリーデザインコース テキスタイルデザインコース	基礎能力テスト[造形力・表現力](3時間・100点)	+	自己作品持参による プレゼンテーション ^{※1・2・3・4} (約10分・200点)	+	個人面接 (約10分・100点)
上記以外のコース	基礎能力テスト[発想力・表現力](3時間・100点)				

- ※1 メタル&ジュエリーデザインコース、テキスタイルデザインコースの「自己作品」は、3年以内に制作した作品2点以上と各自過去の実績をできる限り表明し得る作品と作品写真等(ポートフォリオ)を持参すること。
- ※2 「文芸・ライティングコース」の「自己作品」は3年以内に制作した1点以上の小説、戯曲、シナリオ、ストーリーマンガ等、文章表現が主体となる創作物を出願書類に同封のうえ事前提出すること。
- ※3 「上記以外のコース」の「自己作品」は、各自過去の実績をできる限り表明し得る作品と作品写真等(ポートフォリオ)を持参すること。
- ※4 自己作品の形式は、出願時に登録してください。なお、映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするもの場合は、再生装置も持参してください。

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

〈1期・2期・3期〉

コース	選考方法①		選考方法②
リベラルアーツコース	小論文 [*] (50分・100点)	+	個人面接(約10分・100点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。400字詰め原稿用紙2枚程度とする。

人間発達学部 子ども発達学科

〈1期・2期・3期〉

コース	選考方法①		選考方法②
全コース	小論文 [*] (50分・100点)	+	個人面接(約10分・100点)

- ※「小論文」の課題は当日出題。400字詰め原稿用紙2枚程度とする。

選考方法詳細1（音楽領域）

※総合型選抜入学試験・一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

音楽コース

総合型選抜入学試験・一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験①：専攻実技

外国歌曲を1曲（下表の外国歌曲群から1曲選択または任意の楽曲1曲）、および日本歌曲を1曲（下表の日本歌曲群から1曲選択または任意の楽曲1曲）の、計2曲を選択し、「実技曲目記入用紙」（様式は本学Webサイトより出力してください。）に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は選択または任意の計2曲を演奏すること

外国歌曲群	調	作曲者
1. An die Musik	D-dur, C-dur, B-dur	F.Schubert
2. Ich liebe dich	E-dur, F-dur, G-dur	L.V.Beethoven
3. Die Lotosblume	Es-dur, F-dur	R.Schumann
※4. Auf Flügeln des Gesanges (1, 3番のみ)	As-dur, G-dur, F-dur	F.Mendelssohn
5. Sebben, crudele	e-moll, d-moll, c-moll	A.Caldara
6. Vergin, tutto amor	d-moll, c-moll, h-moll	F.Durante
7. Già il sole dal Gange	B-dur, As-dur	A.Scarlatti
8. Caro mio ben	F-dur, Es-dur, Des-dur	G.Giordani
9. Caro laccio	Es-dur, Des-dur	F.Gasparini
10. Segreto	f-moll	F.Tosti

日本歌曲群	調	作曲者
※1. 早春賦(2番まで)	Es-dur, F-dur	中田章
※2. 浜辺の歌(2番まで)	F-dur, As-dur	成田為三
※3. 椰子の実(2番まで)	G-dur, A-dur	大中寅二
4. かやの木山の	D-dur, C-dur	山田耕作
5. この道	D-dur, E-dur, F-dur	山田耕作
6. 北秋の	B-dur, C-dur, D-dur	信時潔
7. 行々子	D-dur, E-dur, Fis-dur	信時潔
8. ゆりかご	D-dur, E-dur	平井康三郎
9. 風の子供	Des-dur, B-dur	中田喜直
10. さくら横ちょう	b-moll, g-moll	中田喜直

- 注意
- 歌詞はすべて原語とし、暗譜で歌唱すること。ただし※印の4曲においては（ ）の指示で歌唱すること
 - 「音楽曲伴奏楽譜」の提出について
以下に該当する場合は、当該曲目の「音楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること（提出楽譜については、以下の楽譜の提出方法を参照のこと）
①上記に示す外国歌曲群・日本歌曲群から選択し、かつ上記表以外の調で受験する場合
②上記に示す外国歌曲群・日本歌曲群以外の、任意の楽曲で受験する場合
 - 伴奏者は本学で準備します。

●専門試験②：副科ピアノ ※一般入学試験のみ

自由曲1曲（演奏は繰り返しなしで、暗譜とする。）

●専門試験③：楽典 ※一般入学試験のみ

音楽の基礎的な理論（楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方）を問うものです。

音楽曲伴奏楽譜の提出方法 下記楽譜の提出方法を参照してください。

- ①各ページをA4判縦とする
- ②各ページが全開するよう横一連に綴じる
- ③表紙の裏から伴奏楽譜を1ページとする
- ④表紙が上になるように折りたたむ
- ⑤手書きの楽譜は、黒のペンまたはボールペンで正確に書く

鍵盤楽器コース(ピアノ)

総合型選抜入学試験・一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験①:専攻実技

次のAより1曲選択し、自由曲1曲のあわせて2曲を「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は「実技曲目記入用紙」に記入した2曲を演奏すること。演奏はすべて繰り返しなしで、暗譜とする。

A
1. Czerny 50番(Op.740)
2. Czerny 60番(Op.365)
3. Cramer-Bülrowのエチュード
4. Clementi-Tausigのエチュード
5. Moscheles(Op.70)
6. Moszkowski(Op.72)
7. Chopinのエチュード(Op.10, Op.25, 遺作)
8. J.S.Bachのクラヴィア曲(「平均律ピアノ曲集」の場合はフーガのみ)

B
自由曲

●専門試験②:楽典 ※一般入学試験のみ

音楽の基礎的な理論(楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方)を問うものです。

鍵盤楽器コース(電子オルガン)

総合型選抜入学試験・一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験①:専攻実技

次の曲を電子オルガンで演奏すること

自由曲 1曲

曲名および使用機種は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないのであらかじめ作成して記録したメディア(USBメモリ等)を用意すること。この場合、自分で作成したものに限定しない。MDRの使用範囲はレジストデータとレジストチェンジまでとする。演奏は暗譜とする。

〈使用機種〉 ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m

●専門試験②:楽典 ※一般入学試験のみ

音楽の基礎的な理論(楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方)を問うものです。

弦管打コース

総合型選抜・一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験①:専攻実技

【弦楽器】

次の課題を演奏すること。演奏は繰り返しなしで、伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

ヴァイオリン
1. 音階／Carl Flesch:Scale Systemより各調任意選択し、5番を奏する。(形式任意) 2. Kreutzer:Etüden, Rode:Capricen, Dont:Etüden und Capricen op.35 の中から1曲選択、または任意の楽曲1曲

ヴィオラ
1. 音階／2. で選択した曲の調の2オクターブ(形式任意) 2. 任意の楽曲または練習曲1曲
チェロ
1. 音階／2. で選択した曲の調の2オクターブ(形式任意) 2. 任意の楽曲または練習曲1曲
コントラバス
1. 音階／2. で選択した曲の調とその平行調の2オクターブ(形式任意) 2. J.Hrabě:86 Etudes Book 1よりNo.11, 18, 25, 27の中から任意の1曲(Carl Fiscer 版)、または任意の楽曲1曲
ハープ
任意の楽曲または練習曲 アイリッシュ・ハープでの受験も可
ギター
次の1～3より1曲選択し演奏すること 1. M.カルカッシ:25の練習曲、作品60(シャントレル出版、または全音楽譜出版) M.Carcassi:25 Etudes (Melodiques) Op.60 (CHANTERELLE VERLAG or ZEN-ON) 2. F.ソル(A.セゴヴィア編):ギターのための20の練習曲(EMI MUSIC PUBLISHING JAPAN 出版) F.Sor (edited by A.Segovia):20 studies for the guitar (EMI MUSIC PUBLISHING JAPAN) 3. H.ヴィラ＝ロボス:ギターのための12の練習曲(マックス・エシック出版) H.Villa-Lobos:12 ETUDES de Guitare (EDITIONS MAX ESCHIG)

【管楽器】

次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学 Web サイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

フルート
1. 音階／長音階・短音階それぞれ1種類、2オクターブの音階を当日指定し、スラーまたはタンギングで演奏する。短音階は和声短音階のみ。すべて暗譜とする。 2. J.Andersen:24 Etudes, op.21より第4番 ホ短調 Andante con moto、または任意の楽曲1曲 ※すべて版の指定はしない。
オーボエ
1. 音階／各調より当日指定する。(形式任意) 2. Hinke:Etudesより任意の1曲、または任意の楽曲1曲
クラリネット
1. 音階／各調の1番より当日指定する。(形式:スラー) 音階は暗譜とする。 ※R.Eichler:Scales for Clarinetを使用する。 2. C.Rose:32 EtudesよりNo.9～No.24の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
バスクラリネット
1. 音階／各調より当日指定する。(形式任意) 2. C.Rose:32 EtudesよりNo.1, 5, 13, 27の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
ファゴット
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. Weissenborn:第2巻よりNo.1～No.15の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
サクソフォン
1. 音階／各調より当日指定する。(形式任意) 2. M.Mule:QUARANTE-HUIT ÉTUDES, d'après FERLING「48の練習曲(フェルリング)」より1番、2番、または任意の楽曲1曲
トランペット
1. 音階／G-dur, A-dur (実音F-dur, G-dur)の2オクターブ(形式任意) 2. C.Kopprasch:Sixty Selected Studies Book1 (Carl Fischer 版)より No.8, 13, 14, 15, 17, 18, 19, 21, 22, 32の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲

ホルン
1. 音階／B-durの2オクターブ(形式任意) 2. C.Kopprasch:Sixty Selected Studies Book 1よりNo.1～No.16の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
トロンボーン
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. C.Kopprasch:Sixty Selected Studies Book 1よりNo.1～No.15の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
バストロンボーン
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. C.Kopprasch:Sixty Selected Studies Book 1 for BB ^b テューバ用(出版社は指定しない)よりNo.1～No.15の中から任意の1曲、または任意の楽曲1曲
ユーフォニアム
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. 任意の楽曲または練習曲1曲
テューバ
1. 音階／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. 任意の楽曲または練習曲1曲

【打楽器】

次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

スネアドラム(小太鼓)
1. 基礎打ち(1, 2, 5, 7, 9つ打ちおよびロングロールより当日指定する) 2. Modern School for Marimba・Xylophone・Vibraphone 39Etudes(出版:Alfred publishing) I、Ⅲ、Xより任意の1曲、または任意の楽曲または練習曲(ロールを含む曲)1曲
マリンバ
1. 音階および分散和音／各調より当日指定する。(2オクターブ、形式任意) 2. Modern School for Snare Drum(出版:Alfred publishing) 44ページ～49ページより任意の1曲、または任意の楽曲(例:RAINDANCE／ALICE GOMEZ)1曲

●専門試験②:副科ピアノ(ギター志願者は免除) ※一般入学試験のみ

自由曲1曲(演奏は繰り返しなしで、暗譜とする。)

●専門試験③:楽典 ※一般入学試験のみ

音楽の基礎的な理論(楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方)を問うものです。

ウインドアカデミーコース

総合型選抜入学試験

●専門試験：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験：楽器演奏、指揮実技、小論文から1つを選択する。

楽器演奏	弦管打楽器演奏または鍵盤楽器コース演奏から1つを選択する。楽譜の持ち込み可。 弦管打楽器、鍵盤楽器コースとも自由曲1曲を演奏する（即興演奏、自作の曲でも可）。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏のCD（マイナスイオン*）を各自用意すること（ 予備として、同じ伴奏音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること ）
指揮実技	次の2曲の課題曲から、当日指定された1曲について冒頭から指揮を行う。課題曲楽譜は各自用意すること。 演奏は、ピアノ1台（連弾）とする。なお、演奏者は本学で準備します。 ▼L.W. ベートーヴェン 交響曲第1番ハ長調 Op.21 1楽章 ▼W.A. モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 1楽章
小論文	課題は当日出題。400字づめ原稿用紙に2枚程度とする。

- ・楽器演奏、指揮実技、小論文から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」（様式は本学 Web サイトより出力してください。）に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

※「マイナスイオン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

ポップス・ロック&パフォーマンスコース

総合型選抜入学試験

●専門試験：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験：ヴォーカル、楽器演奏から1つを選択する。

ヴォーカル	自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 ヴォーカル伴奏のCD（マイナスイオン*）を各自用意すること（ 予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること ）。ピアノ伴奏で受験する者は、「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること。 提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと 伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する（即興演奏、自作曲の演奏も可）。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD（マイナスイオン*）を各自用意すること（ 予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること ） アンプは原則として本学で用意するものを使用すること

- ・ヴォーカル、楽器演奏から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・ヴォーカルを選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- ・電子オルガンを使用する場合は、ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m とし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学 Web サイトより出力してください。

※「マイナスイオン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

ワールドミュージック・カルチャーコース

総合型選抜入学試験

●専門試験：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験：楽器演奏、小論文、または学科試験*から1つを選択する。

楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する（即興演奏、自作曲の演奏も可）。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD（マイナスイワ）を各自用意すること（予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレイヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること） アンプを使用する場合は、原則として本学で用意するものを使用すること
小論文	課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。
学科試験 *一般入学試験のみ	「英語」「数学」「国語」「地理歴史*」から2科目受験 〈出題範囲〉 英語 :コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ 数学 :数学Ⅰ・A 国語 :国語総合（漢文を除く） 地理歴史* :日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目 ※「地理歴史」は1期のみ

- ・楽器演奏、小論文、または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- ・電子オルガンを使用する場合は、使用機種はヤマハELS-02C、ELS-01C、EL-900mとし、「実技曲目記入用紙」に使用機種名も記入してください。
- ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイワ」＝自分の演奏パートの音声が入っていない音源

ミュージカルコース

総合型選抜入学試験

●専門試験：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験：ヴォーカル・パート

下記のミュージカル楽曲群より1曲を選択し、「実技曲目記入用紙」（様式は本学Webサイトより出力してください。）に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。試験当日は選択した1曲を演奏すること

ミュージカル楽曲群 [男性]	調	作曲者
※1. 《Cats》より Skimbleshanks : the Railway Cat	E major	A.L.Webber
2. 《West Side Story》より Maria	A major	L.Bernstein
3. 《The Phantom of The Opera》より The Music of The Night	D ^b major	A.L.Webber
4. 《Lion King》より Endless Night	E major	Lebo M, H. Zimmer & J. Rifkin
5. 《Lion King》より They Live In You	F [#] minor	M. Mancina, J. Rifkin & Lebo M.

ミュージカル楽曲群 [女性]	調	作曲者
6. 《The Phantom of The Opera》より Think Of Me	D major	A.L.Webber
※7. 《West Side Story》より I Feel Pretty	F major	L.Bernstein
8. 《Cats》より Memory	B ^b major	A.L.Webber
9. 《Beauty and the Beast》より Home	G major	A. Menken
10. 《Les Miserables》より I Dreamed A Dream	E ^b major	C. M. Schoenberg

注意 伴奏者は本学で準備します。

上記の課題曲群に関して、原語および日本語訳詞どちらで歌唱しても構わない。

暗譜で歌唱すること。調は表記された調のみとする。

出願と併せて選択曲の「伴奏楽譜」を提出すること。

（伴奏楽譜の提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと。）

ただし、※1に関し、3小節よりピアノ伴奏が始まりSKIMBLEのパートのみを歌唱する。

※7に関し、Mariaのパートのみを歌唱する。

●専門試験：ダンス・パート

ダンス・パートとは、その場で振付される3分程度の簡単なステップをリズムカルに踏むことによって、リズム感と躍動感、更には即応性と即興性を審査し、ミュージカル俳優としての適性を見るために行うものです。

この試験は、複数名の受験者からなるグループで行います。

注意 ダンス・パート試験のための動きやすい服装と上履きを持参のこと

ダンスパフォーマンスコース

総合型選抜入学試験

●専門試験:小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:ダンス・パート

ダンス・パートとは、その場で振付される3分程度の簡単なステップをリズムカルに踏むことによって、リズム感と躍動感、更には即応性と即興性を審査し、ダンサーとしての適性を見るために行うものです。

この試験は、複数名の受験者からなるグループで行います。

注意 ダンス・パート試験のための動きやすい服装と上履きを持参のこと

声優アクティングコース

総合型選抜入学試験

●専門試験:小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験:表現力

以下の課題をすべて行ってください。

注意 試験当日の原稿配付はありません。必要な場合は各自持参すること。

①自己紹介(氏名など)(約1分)

②台詞(詳細は以下を参照)

③ナレーション(詳細は以下を参照)

声優アクティングコース入学試験 表現力 課題

●台詞

次の台本を、前半はオーディションに受かった喜びを、後半は母が倒れた驚きと悲しみを、感情のメリハリをつけて演じてください(〇〇には自分の名前を入れてください)。台本は暗記しても、持って演じてもらいませぬ。

「携帯電話に着信」あつ、事務所からの電話!きつと昨日のオーディションの結果だ・・・怖い・・でも早く出なきゃ!(電話に出る)おはようございます、〇〇です!
昨日のオーディションの結果ですよね?・・え?・・主役に決まった!?本当ですか?はい!一生懸命頑張ります。ありがとうございました!(電話を切る)
やったー!!初めての主役!まさか決まるなんて・・早くお父さん達に知らせなきゃ!(美家に電話する)あ、お父さん、あの子、今ね・・え!?!お母さんが?・・嘘・・たった今、救急車で運ばれた?・・最近頭痛いってよく言ってたもんね・・分かった、すぐ病院に向かうよ。待ってて!(電話を切り、駆け出す!)

●ナレーション

次の台本を見ながら朗読してください。

【男性用ナレーション】

上空に突如現れた巨大な宇宙船。

異星人たちは、地球上のあらゆる問題を解決する事と引き換えに、地球人たちの絶対的服従を要求した。

果たして彼らの目的とは?

異星人たちとの遭遇により、新たな道を進み始めた人類の姿を描くSF映画の傑作「新たな旅立ち」近日ロードショー!

【女性用ナレーション】

ロンドン郊外の小さな町に暮らすアレックスとリリー。

優しい両親と町の人々に見守られながら育った二人は、

やがて恋に落ち、結婚の日を迎えた。

しかし、ある事件をきっかけに、二人の関係は少しずつ変化していく・・。

演劇界の巨匠デニス・ペイカーの代表作「ダイアリーズ」

名古屋芸術大学大講堂にて絶賛上演中!

サウンドメディア・コンポジションコース

総合型選抜入学試験

●専門試験：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験：歌唱、楽器演奏、作品提出[事前提出]、小論文または学科試験*から1つを選択する。

歌唱	自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 歌唱伴奏のCD（マイナスワン*）を各自用意すること（ 予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること ）。ピアノ伴奏で受験する者は、「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること。 提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと 伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する（即興演奏、自作曲の演奏も可）。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD（マイナスワン*）を各自用意すること（ 予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること ）。アンプは原則として本学で用意するものを使用すること
作品提出 [事前提出]	自分で創作した音楽作品（オリジナル作品、編曲作品）を出願書類とともに提出する。 楽曲の長さは5分程度とする。 音楽のみの作品はCD-RまたはUSBメモリで、映像をとまなう作品の場合はDVD-RまたはUSBメモリで提出する。 その他のメディアでの提出の場合は、事前に本学広報部学生募集チーム（TEL:0568-24-0318）まで連絡すること 「作品提出記入用紙」とともに提出すること
小論文	課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。
学科試験 *一般入学試験のみ	「英語」「数学」「国語」「地理歴史*」から2科目受験 〈出題範囲〉 英語 :コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ 数学 :数学Ⅰ・A 国語 :国語総合（漢文を除く） 地理歴史* :日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目 ※「地理歴史」は1期のみ

- 歌唱、楽器演奏、作品提出[事前提出]、小論文、または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- 歌唱を選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- 電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01C、EL-900mとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- 「実技曲目記入用紙」「作品提出記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスワン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

総合型選抜入学試験・一般推薦入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般入学試験

●専門試験：小論文または学科試験から1つを選択する。

小論文	課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。
学科試験	「英語」「数学」「国語」「地理歴史*」から2科目受験 〈出題範囲〉 英語 :コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ 数学 :数学Ⅰ・A 国語 :国語総合（漢文を除く） 地理歴史* :日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目 ※「地理歴史」は1期のみ

音楽ケアデザインコース

総合型選抜入学試験

●専門試験：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験：歌唱、楽器演奏、または学科試験*から1つを選択する。

歌唱	自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 歌唱伴奏のCD（マイナスイワン*）を各自用意すること（ 予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること ）。ピアノ伴奏で受験する者は、「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること。 提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと 伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する（即興演奏、自作曲の演奏も可）。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD（マイナスイワン*）を各自用意すること（ 予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること ）。アンプは原則として本学で用意するものを使用すること
学科試験 *一般入学試験のみ	「英語」「数学」「国語」「地理歴史*」から2科目受験 〈出題範囲〉 英語 :コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ 数学 :数学Ⅰ・A 国語 :国語総合（漢文を除く） 地理歴史* :日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目 ※「地理歴史」は1期のみ

- 歌唱、楽器演奏、または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- 歌唱を選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- 電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01C、EL-900mとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- 「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイワン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

音楽総合コース

総合型選抜入学試験

●専門試験：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。

一般推薦入学試験・一般入学試験・社会人入学試験・海外帰国生徒入学試験・外国人留学生入学試験

●専門試験：歌唱、楽器演奏、作品提出[事前提出]、小論文または学科試験*から1つを選択する。

歌唱	自由曲1曲を演奏する。楽譜の持ち込み可。 歌唱伴奏のCD(マイナスワン*)を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ピアノ伴奏で受験する者は、「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること。提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと 伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する(即興演奏、自作曲の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD(マイナスワン*)を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。アンプは原則として本学で用意するものを使用すること
作品提出 [事前提出]	自分で創作した音楽作品(オリジナル作品、編曲作品)を出願書類とともに提出する。 楽曲の長さは5分程度とする。 音楽のみの作品はCD-RまたはUSBメモリで、映像をとまなう作品の場合はDVD-RまたはUSBメモリで提出する。 その他のメディアでの提出の場合は、事前に本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで連絡すること [作品提出記入用紙]とともに提出すること
小論文	課題は当日出題。400字づめ原稿用紙2枚程度とする。
学科試験 *一般入学試験のみ	「英語」「数学」「国語」「地理歴史*」から2科目受験 〈出題範囲〉 英語:コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ 数学:数学Ⅰ・A 国語:国語総合(漢文を除く) 地理歴史*:日本史Bまたは世界史Bのいずれか1科目 ※「地理歴史」は1期のみ

- 歌唱、楽器演奏、作品提出[事前提出]、小論文、または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- 歌唱を選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- 電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01C、EL-900mとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- 「実技曲目記入用紙」「作品提出記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスワン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

〈選考に関する注意事項〉

- *原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
- *その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム(楽器室担当)(TEL:0568-24-5141)までお問い合わせください。
- *学内にある練習室(東キャンパス5号館1F)が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8:00~9:00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

選考方法詳細2（音楽領域）

※エキスパート入学試験・プロフェッショナルアーティスト入学試験

声楽コース

鍵盤楽器コース

弦管打コース

ウインドアカデミーコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書*（様式は不問。本学所定の様式を活用しても可） ④プログラム表（任意様式） ※これまでの活動歴、受賞歴（声楽コース、弦管打コースは部活動歴も含む）、演奏グレード等を明確に記述のうえ提出すること。
選考方法	リサイタル形式のコンサートの実施（合計45分以上70分以内・300点） 〈条件〉 ・年代の異なる様々な時代の作曲家の作品3曲以上（電子オルガンについては自作曲1曲を必ず含む）を組み合わせたプログラムを組んで実施すること。 ・伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと。 ・楽譜の持ち込みは不可（暗譜で演奏）
選考ポイント	技術的要素に加え、表現力や楽曲の理解度・習熟度またリサイタルとして相応しい楽曲構成になっているかなど、総合的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具

ポップス・ロック&パフォーマンスコース

ワールドミュージック・カルチャーコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書（様式は不問。本学所定の様式を活用しても可） ④プログラム表（任意様式）
選考方法	2つ以上の音楽ジャンル作品を組み合わせたパフォーマンスの実施（30分程度・300点） 〈条件〉 ・パフォーマンス内容はすべて受験者自身がプロデュースのうえ、プログラムを作成し提出するとともに3分程度で口述すること。 ・楽譜の持ち込みは不可（暗譜で演奏）
選考ポイント	技術的要素に加え、表現力、プロデュース能力やプレゼンテーション能力など多角的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具 ③パフォーマンスに必要となる音源（USBメモリ等）

ミュージカルコース

ダンスパフォーマンスコース

声優アクティングコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書（様式は不問。本学所定の様式を活用しても可） ④プログラム表（任意様式）
選考方法	受験者自身がプロデュースしたパフォーマンスの実施（30分程度・300点） 〈条件〉 ・パフォーマンス内容はすべて受験者自身がプロデュースのうえ、プログラムを作成し提出すること。
選考ポイント	技術的要素に加え、表現力、プロデュース力やプレゼンテーション能力などを多角的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具 ③パフォーマンスに必要となる音源（USBメモリ等）、衣装（服装）、上履き、台本（原稿）等

サウンドメディア・コンポジションコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書（様式は不問。本学所定の様式を活用しても可） ④作品（作曲の場合はスコアも提出） ⑤作品提出記入用紙（本学所定様式）
選考方法	作品提出（作曲、録音、音響）および口頭で説明（15分程度・300点） （条件） ・受験者自身の作品（作曲、録音、音響）を出願時に提出すること。 ・作曲の場合、演奏時間30分程度の単一作品または複数作品をスコアとともに提出し、その作品について15分程度で口頭で論じてもらいます。 ・録音、音響の場合、30分程度の作品を提出のうえ、その作品について15分程度で口頭で論じてもらいます。 ・作品のファイル形式は、動画の場合MOV ファイル、音源の場合WAV ファイルとし、USB メモリで提出すること。
選考ポイント	作品を構成するための技術的要素に加え、表現力、プロデュース能力やプレゼンテーション能力などを多角的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具

ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票 ②調査書 ③活動報告書（様式は不問。本学所定の様式を活用しても可） ④企画制作したプロジェクトの報告書
選考方法	①令和4年度大学入学共通テスト〔「国語」「外国語（英語）」を受験（200点） ②受験者自身が企画制作したプロジェクトの報告書および口頭で説明 （条件） ・「国語」…（現代文、古文、漢文）合計200満点を100点に換算します。 ・「外国語（英語）」…合計200点満点を100点に換算します。（リーディングとリスニングの配点比率は1:1とする。） ・受験者自身が企画制作したプロジェクトの報告書を出願時に提出のうえ、試験当日にその内容の意図について15分程度で口頭で論じてもらいます。
選考ポイント	企画力、表現力、プロデュース能力やプレゼンテーション能力などを多角的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具

音楽ケアデザインコース

エキスパート入学試験

出願書類等	①出願確認票（令和4年度大学入学共通テスト成績請求票（私立大学用）を必ず貼付すること） ②調査書 ③活動報告書（様式は不問。本学所定の様式を活用しても可）
選考方法	①令和4年度大学入学共通テスト〔「国語」「外国語（英語）」を受験（200点） ②臨床即興演奏（3曲程度）および口頭で説明（演奏20分＋論述約10分・100点） （条件） ・「国語」…（現代文、古文、漢文）合計200満点を100点に換算します。 ・「外国語（英語）」…合計200点満点を100点に換算します。（リーディングとリスニングの配点比率は1:1とする。） ・本コースの専門性に沿った臨床即興演奏を相応しい楽器を用いて20分以内で3曲程度行い、その内容の意図について10分程度で口頭で論じてもらいます。
選考ポイント	技術的要素に加え、臨床的演奏の意図の明確さや、音楽療法、ケアについての知識の豊富さ、療法、ケアに関わる姿勢などを総合的に判断します。
試験当日持参物	①受験票 ②筆記用具 ③楽器（※ピアノとギターは貸出可）

音楽総合コース

エキスパート入学試験

出願書類等	上記いずれか1つのコースの課題を選択（300点） ※出願書類、選考方法、試験当日持参物、選考ポイントは選択したコースに準じる
選考方法	
選考ポイント	
試験当日持参物	

プロフェッショナルアーティストコース

プロフェッショナルアーティスト入学試験

声楽

●専門試験①:指定課題曲の演奏

A 課題曲(外国歌曲群)より2曲、B 課題曲(日本歌曲群)より2曲を選択した中から、それぞれ1曲ずつを当日試験場で指定します。ABCの順に3曲を演奏してください。選択した曲(A:2曲、B:2曲)、任意の曲(C:1曲)は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

A 課題曲

下記の作曲家より異なる作曲家の曲を2曲準備する。歌曲に限る。調性は自由とする。

外国歌曲群の作曲家					
A.Cesti	A.Scarlatti	W.A.Mozart	G.Rossini	G.Donizetti	V.Bellini
G.Verdi	F.P.Tosti	S.Donaudi	F.Schubert	R.Schumann	J.Brahms

B 課題曲

下記の作曲家より異なる作曲家の曲を2曲準備する。調性は自由とする。

日本歌曲群の作曲家				
滝廉太郎	山田耕筰	信時潔	弘田龍太郎	成田為三
平井康三郎	中田喜直	團伊玖磨	小林秀雄	木下牧子

C 自由曲

オペラアリア、コンサートアリア、オラトリオから任意の1曲を演奏する。

(演奏途中で切りますが、審査に影響はありません)

注意 ・歌詞はすべて原語とし、暗譜で歌唱すること。伴奏者は同伴のこと。

・「声楽曲伴奏楽譜」の提出について

演奏する外国歌曲2曲と日本歌曲2曲、自由曲1曲それぞれの「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること(提出楽譜については、以下の楽譜の提出方法を参照のこと)

●専門試験②:副科ピアノ

自由曲1曲(演奏は繰り返しなしで、暗譜とする。)

声楽曲伴奏楽譜の提出方法 下記楽譜の提出方法を参照してください。

表紙

氏名

A4判

表紙の裏

伴奏楽譜1ページ

A4判

伴奏楽譜2ページ

A4判

伴奏楽譜3ページ

A4判

伴奏楽譜4ページ

A4判

①各ページをA4判縦とする

②各ページが全開するよう横一連に綴じる

③表紙の裏から伴奏楽譜を1ページとする

④表紙が上になるように折りたたむ

⑤手書きの楽譜は、黒のペンまたはボールペンで正確に書く

鍵盤楽器(ピアノ)

●専門試験：指定課題曲の演奏

A、B、C、全ての課題を暗譜で演奏すること。当日、時間の都合により一部を省略する場合がある。演奏する曲名等は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

- A J.S.Bach 平均律1巻・2巻より任意の1曲 もしくは Chopin 練習曲作品10&25より任意の1曲
- B J.Haydn, W.A.Mozart, L.V.Beethoven いずれかのソナタより任意の作品の第1楽章
- C ロマン派もしくは近現代の作品より任意の1曲(練習曲以外の作品に限る)

鍵盤楽器(電子オルガン)

●専門試験：指定課題曲の演奏

以下の条件の3曲を演奏してください。曲名や使用機種等は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

- ①クラシック作品を1曲演奏。時代、演奏時間は不問。編曲についても市販の既成か自編曲かは不問。
- ②ポピュラー音楽作品を1曲演奏。ポピュラー音楽に類すれば、ジャンル、演奏時間は不問。編曲についても市販の既成か自編曲かは不問。
- ③自作を含む自編曲作品を1曲演奏。ジャンル、演奏時間は不問。

弦楽器

●専門試験：指定課題曲の演奏

次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

ヴァイオリン
1. 音階／調号(＃・♭3つまでの長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する。(形式任意) 2. P.Rode : Capricen J.Dont : 24 Etüden und Capricen op.35 N.Paganini : 24 Caprices の中から任意の1曲を選択し演奏する。 3. W.A.Mozart :Konzert für Violin Nr.3,4,5の中から1曲選択し第1楽章(カデンツ付き)のみ演奏する。(当日演奏箇所を指定する) 4. ロマン派以降の任意の協奏曲より第1楽章(版の指定なし)
ヴィオラ
1. 音階／調号(＃・♭3つまでの長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する(形式任意) 2. Kreutzer : 42 Studies Rode : 24 Capricen の中から任意の1曲を選択し演奏する。 3. K.Stamitz : Konzert D-dur op.1 第1楽章 カデンツを含む(版の指定なし)
チェロ
1. 音階／調号(＃・♭3つまでの長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する(形式任意) 2. J.L.Duport : The 21 Famous Exercises より、任意の1曲を演奏する。 3. J.Haydn : Konzert Nr.1 C-dur 第1楽章 カデンツ含む(版の指定なし)
コントラバス
1. 音階／調号(＃・♭3つまでの長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する(形式任意) 2. J.Hrabe:86 Etudes よりNo.15.22.27.28番の中から任意の1曲を演奏する。 3. A.Capuzzi: Contrabass Concerto D Major より第1楽章(版の指定なし)
ハープ
1. R.N.C.Bochsa : Célèbres Etudes Cinquante Etudes op.34 2巻よりNo.30 2. 任意の自由曲1曲

管楽器

●専門試験：指定課題曲の演奏

次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」（様式は本学Webサイトより出力してください。）に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

フルート
1. 音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー） 2. 次の3つの練習曲集より任意の1曲を選択し演奏する。 E.Köhler：Medium Difficult Exercises op.33 Book 2 J.Andersen：24 Etudes op.21 A.B.Fürstenau：Bouquet des Tons op.125 3. G.Fauré：Fantasie op.79 4. J.S.Bach：Sonate E-dur BWV.1035 より第1, 2楽章 ※すべて版の指定はしない。
オーボエ
1. 音階／各調（長調・短調）を当日指定し演奏する（形式 スラー） 2. W.Ferling:48 Études No.1.8.21.22.23.24.25 より当日指定する。 3. J.Haydn：Konzert C-dur より第1楽章 カデンツ含む（Breitkopf版）
クラリネット
1. R.Eichler Scales for Clarinet より1番各調（長調・短調）を当日指定し演奏する（形式 スラー） 2. C.Rose:32 Etudes よりNo.15～24の中から当日指定する。 3. 下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 C.M.v.Weber：Concertino in E ♭ major op.26（版の指定なし） C.M.v.Weber：Konzert Nr.1 f-moll op.73 より 第1楽章（パールマン・カデンツ含む）
ファゴット
1. 音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー） 2. Weissenborn:Etudes op.8 2巻 No.1～15の中から当日2曲指定する。 3. K.Stamiz：Konzert F-dur für Fagott 第1楽章 カデンツ含む（版の指定なし）
バスクラリネット
1. R.Eichler Scales for Clarinet より1番各調（長調・短調）を当日指定し演奏する（形式 スラー） 2. C.Rose:32 Etudes よりNo.15～24の中から当日指定する。 3. 下記の2曲より1曲を選択し演奏する（版の指定なし） Wilfried Westerlinck：Look, a Bass Clarinet in My Garden Henri Rabaud：Solo De Concours
サクソフォーン
※アルトサクソフォーンで受験のこと 1. サクソフォーンのためのトレーニングブック（須川展也編、音楽之友社）51,52頁の音型を使用し、スラーで演奏する。繰り返しなし。 2. M.Mule:QUARANTE-HUIT ETUDES.d'après FERLING [48の練習曲] より 1,2,4,5,6,9,13,14,17,18,番より当日2曲指定する。 3. A.Glazounov：Concerto en mi bémol 練習番号16 番まで（Leduc 版）
トランペット
1. 音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー） 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for Trumpet No.8.13.14.15.17.18.19.21.32の中から当日2曲指定する。 3. 下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 C.Höhne:Slavische Fantasie für Cornet a pistons（版の指定なし） C.saint-Saëns：Fantasie en mi bémol のいずれかを選択して演奏する
ホルン
1. 音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー） 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for French Horn よりNo.1～28の中から2曲当日指定する。 3. 下記の2曲より1曲を選択し演奏する。（カデンツなし） W.A.Mozart：Konzert für Horn Nr.3 Es-dur K.447 第1楽章（版の指定なし） W.A.Mozart：Konzert für Horn Nr.4 Es-dur K.495 第1楽章（版の指定なし）
トロンボーン
1. 音階／各調（長調・短調）を当日指定し、2オクターブ演奏する（形式 スラー） 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for Trombone よりNo.1～35の中から当日2曲指定する。 3. F.David:Concertino in E ♭ op.4 第1,2楽章（Zimmermann版）

バストロンボーン
1. 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for Trombone よりNo.1～35の中から当日2曲指定する。 3. F.David: Concertino in E ♭ op.4 第1,2楽章 (Zimmermann 版)
ユーフォニアム
1. 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for Trombone よりNo.10～30の中から当日2曲指定する。 3. 下記の2曲より1曲を選択し演奏する。 A.Capuzzi : Andante and Rondo (版の指定なし) P.V.De la Nux : Solo de Concours pour Trombone et piano (Leduc 版)のいずれかを選択して演奏する。
チューバ
1. 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、2オクターブ演奏する(形式 スラー) 2. C.kopprasch:60 Selected Studies for Tuba よりNo.3～26の中から当日2曲指定する。 3. A.Levedjew : Konzert Nr.1 für Tuba (Hoffmeister 版)

打楽器

●専門試験:指定課題曲の演奏

次の課題を演奏すること。伴奏はなしとする。楽譜の持ち込み可。

楽器名および楽曲は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

スネアドラム (小太鼓)
1. 基礎打ち (1.2.5.7.9 打ちおよびロングロールより当日指定する) 2. C.Wilcoxon : The All-American Drummer 150 Rudimental solos より No.1～10、31～40の中から当日2曲指定する。 3. 任意の自由曲1曲
マリンバ
1. 音階／各調(長調・短調)を当日指定し、3オクターブ演奏する(形式自由) 2. J.S.Bach : Violin Partita No.3 in E BWV.1006 より "Preiudio" (版の指定なし) 3. 任意の自由曲1曲

〈選考に関する注意事項〉

- *原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム (小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
- *その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム(楽器室担当) [TEL:0568-24-5141]までお問い合わせください。
- *学内にある練習室(東キャンパス5号館1F)が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8:00～9:00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム [TEL:0568-24-0318]まで電話でご連絡ください。

選考方法詳細3（音楽領域）

※3年次編入学試験

声楽コース

3年次編入学試験

●専門試験①：専攻実技

外国歌曲を1曲（下表の外国歌曲群から1曲選択または任意の楽曲1曲）、および日本歌曲を1曲（下表の日本歌曲群から1曲選択または任意の楽曲1曲）の、計2曲を選択し、「実技曲目記入用紙」（様式は本学Webサイトより出力してください。）に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。試験当日は選択または任意の計2曲を演奏すること

外国歌曲群	作曲者
1. Widmung	R.Schumann
2. An die Nachtigall	J.Brahms
3. Quando ti rivedro	S.Donaudy
4. Dormi,bella	G.B.Bassani

日本歌曲群	作曲者
1. からたちの花	山田耕筰
2. 鐘が鳴ります	山田耕筰
3. ひぐらし	團伊玖磨
4. アマリリス	中田喜直

- 注意
- ・歌詞は全て原語で歌唱すること
 - ・調は自由とし、演奏はすべて暗譜のこと
 - ・出願後の曲目変更は認めません。
 - ・「声楽曲伴奏楽譜」の提出について
演奏する外国歌曲1曲と日本歌曲1曲それぞれの「声楽曲伴奏楽譜」を出願時に提出すること（提出楽譜については、以下の楽譜の提出方法を参照のこと）
 - ・伴奏者は同伴のこと

●専門試験②：副科ピアノ

自由曲1曲（演奏は繰り返しなしで、暗譜とする。）

声楽曲伴奏楽譜の提出方法 下記楽譜の提出方法を参照してください。

表紙

氏名

A4判

表紙の裏

伴奏楽譜1ページ

伴奏楽譜2ページ

伴奏楽譜3ページ

伴奏楽譜4ページ

A4判

A4判

A4判

A4判

①各ページをA4判縦とする

②各ページが全開するよう横一連に綴じる

③表紙の裏から伴奏楽譜を1ページとする

④表紙が上になるように折りたたむ

⑤手書きの楽譜は、黒のペンまたはボールペンで正確に書く

鍵盤楽器コース(ピアノ)

3年次編入学試験

●専門試験：専攻実技

次の(イ) (ロ) あわせて2曲を「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。(出願後の変更は認めません。)試験当日は2曲を演奏すること。演奏はすべて繰り返しなしで、暗譜とする。

(イ) 課題曲 パッサリの平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)。

(ロ) 自由曲1曲

鍵盤楽器コース(電子オルガン)

3年次編入学試験

●専門試験：専攻実技

次の曲を電子オルガンで演奏すること

自由曲 1曲

曲名および使用機種は「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。なお、演奏は暗譜とします。また出願後の曲目変更は認めません。

レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないのであらかじめ作成して記録したメディア(USBメモリ等)を用意すること。この場合、自分で作成したものに限定しない。MDRの使用範囲はレジストデータとレジストチェンジまでとする。

〈使用機種〉 ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m

弦管打コース

3年次編入学試験

●専門試験①：専攻実技

「実技曲目記入用紙」(様式は本学Webサイトより出力してください。)に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。

a 弦楽器	ヴァイオリン ヴィオラ(ヴァイオリンにて受験を認める) チェロ コントラバス ハープ ギター	(1) 任意の楽曲
b 木管楽器	フルート オーボエ クラリネット バスクラリネット ファゴット サクソフォン	(1) 音階 各調より当日指定(形式任意) (2) 任意の楽曲または練習曲
c 金管楽器	トランペット ホルン トロンボーン バストロンボーン ユーフォニアム チューバ	(1) 音階 各調より当日指定(形式任意) (2) 任意の楽曲または練習曲
d 打楽器	スネアドラム(小太鼓)	(1) 5、7、9、11、13、17等のストロークロール 2、5、7打ち等を含む任意の曲 (2) マリンパによる簡単な音階
	マリンパ	(1) マリンパ等による音階。調は当日指定 (2) 任意の楽曲 (3) スネアドラム(小太鼓)による任意の楽曲

原則として楽器は各自持参のこと。ただし、コントラバス、ハープ、スネアドラム(小太鼓)、マリンパは本学で用意する。

伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと。

楽譜の持ち込み可。

●専門試験②：副科ピアノ(ギター志願者は免除)

自由曲 1曲(演奏は繰り返しなしで、暗譜とする。)

ウインドアカデミーコース

3年次編入学試験

- 専門試験：楽器演奏、指揮実技、小論文から1つを選択する。

楽器演奏	弦管打楽器演奏または鍵盤楽器コース演奏から1つを選択する。楽譜の持ち込み可。 弦管打楽器、鍵盤楽器コースとも自由曲1曲を演奏する（即興演奏、自作の曲でも可）。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏のCD（マイナスイワ）を各自用意すること（予備として、同じ伴奏音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること）。
指揮実技	次の2曲の課題曲から、当日指定された1曲について冒頭から指揮を行う。課題曲楽譜は各自用意すること。 演奏は、ピアノ1台（連弾）とする。なお、演奏者は本学で準備します。 ▼L.W. ベートーヴェン 交響曲第1番ハ長調 Op.21 1楽章 ▼W.A. モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 1楽章
小論文	課題は当日出題。400字づつ原稿用紙に3枚程度とする。

- ・楽器演奏、指揮実技、小論文から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」（様式は本学Webサイトより出力してください。）に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。

※「マイナスイワ」＝自分の演奏パートの音声が入っていない音源

ポップス・ロック&パフォーマンスコース

3年次編入学試験

- 専門試験①：ヴォーカル、楽器演奏から1つを選択する。

ヴォーカル	自由曲を1曲演奏する。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。ヴォーカル伴奏の、CD（マイナスイワ）を各自用意すること（予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること）。ピアノ伴奏で受験する者は、伴奏楽譜を出願時に提出すること。伴奏楽譜の提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと。伴奏者は本学で準備します。また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
楽器演奏	任意の楽器による自由曲1曲（即興演奏、自作品の演奏も可）。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。原則として楽器は各自持参のこと。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式の、CD（マイナスイワ）を各自用意すること（予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること）。ただし、ピアノ、電子オルガン（ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m）、コントラバス、ハープ、チューバ、マリimba、ドラムス、スネアドラム（小太鼓）、ティンパニ、アンブ等は本学で用意します。

- ・ヴォーカル、楽器演奏から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・ヴォーカルを選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- ・電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01C、EL-900mとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイワ」＝自分の演奏パートの音声が入っていない音源

- 専門試験②：小論文

課題は当日出題。400字づつ原稿用紙3枚程度とする。

ワールドミュージック・カルチャーコース

3年次編入学試験

- 専門試験：楽器演奏、小論文から1つを選択する。

楽器演奏	任意の楽器による自由曲を1曲演奏する（即興演奏、自作曲の演奏も可）。楽譜の持ち込み可。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式のCD（マイナスイワ）を各自用意すること（予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること） アンブを使用する場合は、原則として本学で用意するものを使用すること
小論文	課題は当日出題。400字づつ原稿用紙3枚程度とする。

- ・楽器演奏、小論文、または学科試験から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- ・電子オルガンを使用する場合は、使用機種はヤマハELS-02C、ELS-01C、EL-900mとし、「実技曲目記入用紙」に使用機種名も記入してください。
- ・「実技曲目記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイワ」＝自分の演奏パートの音声が入っていない音源

ミュージカルコース

3年次編入学試験

●専門試験：ヴォーカル・パート

下記のミュージカル楽曲群より1曲を選択し、「実技曲目記入用紙」（様式は本学Webサイトより出力してください。）に記入のうえ、出願書類として郵送提出してください。試験当日は選択した1曲を演奏すること

ミュージカル楽曲群[男性]	調	作曲者
※1. 《Cats》より Skimbleshanks : the Railway Cat	E major	A.L.Webber
2. 《West Side Story》より Maria	A major	L.Bernstein
3. 《The Phantom of The Opera》より The Music of The Night	D ^b major	A.L.Webber
4. 《Lion King》より Endless Night	E major	Lebo M., H. Zimmer & J. Rifkin
5. 《Lion King》より They Live In You	F [#] minor	M. Mancina, J. Rifkin & Lebo M.

ミュージカル楽曲群[女性]	調	作曲者
6. 《The Phantom of The Opera》より Think Of Me	D major	A.L.Webber
※7. 《West Side Story》より I Feel Pretty	F major	L.Bernstein
8. 《Cats》より Memory	B ^b major	A.L.Webber
9. 《Beauty and the Beast》より Home	G major	A. Menken
10. 《Les Miserables》より I Dreamed A Dream	E ^b major	C. M. Schoenberg

注意 伴奏者は本学で準備します。

上記の課題曲群に関して、原語および日本語訳詞どちらで歌唱しても構わない。

暗譜で歌唱すること。調は表記された調のみとする。

出願と併せて選択曲の「伴奏楽譜」を提出すること。

（伴奏楽譜の提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと。）

ただし、※1に関し、3小節よりピアノ伴奏が始まりSKIMBLEのパートのみを歌唱する。

※7に関し、Mariaのパートのみを歌唱する。

●専門試験：ダンス・パート

ダンス・パートとは、その場で振付される3分程度の簡単なステップをリズムカルに踏むことによって、リズム感と躍動感、更には即応性と即興性を審査し、ミュージカル俳優としての適性を見るために行うものです。

この試験は、複数名の受験者からなるグループで行います。

注意 ダンス・パート試験のための動きやすい服装と上履きを持参のこと

ダンスパフォーマンスコース

3年次編入学試験

●専門試験：ダンス・パート

ダンス・パートとは、その場で振付される3分程度の簡単なステップをリズムカルに踏むことによって、リズム感と躍動感、更には即応性と即興性を審査し、ダンサーとしての適性を見るために行うものです。

この試験は、複数名の受験者からなるグループで行います。

注意 ダンス・パート試験のための動きやすい服装と上履きを持参のこと

声優アクティングコース

3年次編入学試験

●専門試験:表現力

以下の課題をすべて行ってください。

注意 試験当日の原稿配付はありません。必要な場合は各自持参すること。

①自己紹介(氏名など)(約1分)

②台詞(詳細は以下を参照)

③ナレーション(詳細は以下を参照)

声優アクティングコース入学試験 表現力 課題

●台詞

次の台本を、前半はオーディションに受かった喜びを、後半は母が倒れた驚きと悲しみを、感情のメリハリをつけて演じてください(○●には自分の名前を入れてください)。台本は暗記しても、持って演じてもらってもかまいません。

「(携帯電話に着信) あつ、事務所からの電話! きっと昨日のオーディションの結果だ・・怖い・・でも早く出なきゃ! (電話に出る) おはようございます、○○です!

昨日のオーディションの結果ですよ? ・・え? ・・主役に決まった!? 本当ですか? はい! 一生懸命頑張ります。ありがとうございます! (電話を切る)

やったー!! 初めての主役! まさか決まるなんて・・早くお父さん達に知らせなきゃ!

(実家に電話する) あ、お父さん、あのさ、今ね・・え! ? お母さんが? ・・嘘・・たつた今、救急車で運ばれた? ・・最近頭痛いつてよく言ってたもんね・・分かった、すぐ病院に向かうよ。待ってて! (電話を切り、駆け出す)」

●ナレーション

次の台本を見ながら朗読してください。

【男性用ナレーション】

上空に突如現れた巨大な宇宙船。

異星人たちは、地球上のあらゆる問題を解決する事と引き換えに、

地球人たちの絶対的服従を要求した。

果たして彼らの目的とは?

異星人たちとの遭遇により、新たな道を進み始めた人類の姿を描く

SF映画の傑作「新たな旅立ち」近日ロードショー!!

【女性用ナレーション】

ロンドン郊外の小さな町に暮らすアレックスとリリー。

優しい両親と町の人々に見守られながら育った二人は、

やがて恋に落ち、結婚の日を迎えた。

しかし、ある事件をきっかけに、二人の関係は少しずつ変化していく・・。

演劇界の巨匠デニス・ペイカーの代表作「ダイアリーズ」

名古屋芸術大学大講堂にて絶賛上演中!

サウンドメディア・コンポジションコース

3年次編入学試験

●専門試験①：歌唱、楽器演奏、作品提出[事前提出]、録音編集技術[事前提出]から1つを選択する。

歌唱	自由曲1曲。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。歌唱伴奏の、CD(マイナスイオン [※])を用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ピアノ伴奏を必要とする者は、伴奏楽譜を出願時に提出すること。 伴奏楽譜の提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと。伴奏者は本学で準備します。 また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
楽器演奏	任意の楽器による自由曲1曲(即興演奏、自作品の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。原則として楽器は各自持参のこと。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式の、CD(マイナスイオン [※])を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ただし、ピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンブ等は本学で用意します。
作品提出 [事前提出]	自分で創作した音楽作品(オリジナル作品、編曲作品)を出願書類とともに郵送提出する。 楽曲の長さは5分程度とする。 音楽のみの作品はCD-RまたはUSBメモリで、映像をとまなう作品の場合はDVD-RまたはUSBメモリで提出する。その他のメディアでの提出の場合は、事前に本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで連絡すること。 「作品提出記入用紙」とともに提出すること。
録音編集技術 [事前提出]	自分で録音した音楽作品を出願書類とともに郵送提出する。 楽曲の長さは5分程度とする。 音楽のみの作品はCD-RまたはUSBメモリで、映像をとまなう作品の場合はDVD-RまたはUSBメモリで提出する。その他のメディアでの提出の場合は、事前に本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで連絡すること。 「作品提出記入用紙」とともに出願書類として郵送提出すること。

- ・歌唱、楽器演奏、作品提出[事前提出]、録音編集技術[事前提出]から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・歌唱を選択する場合は曲目を、楽器演奏を選択する場合は楽器名を「実技曲目記入用紙」に記入のうえ出願書類として郵送提出してください。
- ・電子オルガンを使用する場合は、ヤマハELS-02C、ELS-01C、EL-900mとし、使用機種名も「実技曲目記入用紙」に記入してください。
- ・「実技曲目記入用紙」「作品提出記入用紙」の様式は本学Webサイトより出力してください。

※「マイナスイオン」=自分の演奏パートの音声が入っていない音源

●専門試験②：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙3枚程度とする。

エンターテインメントディレクション&アートマネジメントコース

3年次編入学試験

●専門試験：小論文(事前課題)

小論文は、以下2つの課題のいずれかの内容から選択し、市販の400字づめ原稿用紙3枚程度にまとめ、出願時に提出する。
(出願書類に同封すること)

- ・小論文課題(エンターテインメント・ディレクション系)
「最も強く印象に残っているコンサートまたはミュージカルなどのステージについて述べてください。」
- ・小論文課題(アートマネジメント系)
「より多くの子どもたちに音楽と触れる機会を提供する場合、あなたはどのような組織と連携してどのような内容のコンサートを企画してみたいですか。」

音楽ケアデザインコース

3年次編入学試験

●専門試験①：歌唱、楽器演奏から1つを選択する。

歌唱	自由曲1曲。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。歌唱伴奏の、CD(マイナスイワ*)を用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ピアノ伴奏を必要とする者は、伴奏楽譜を出願時に提出すること。 伴奏楽譜の提出については、「声楽曲伴奏楽譜の提出方法」を参照のこと。伴奏者は本学で準備します。 また、弾き語りで受験する者は、楽譜の提出は不要です。
楽器演奏	任意の楽器による自由曲1曲(即興演奏、自作品の演奏も可)。楽譜の持ち込み可。 出願時に「実技曲目記入用紙」を提出すること。原則として楽器は各自持参のこと。他の楽器との組み合わせを必要とする場合は、伴奏あるいはセッション形式の、CD(マイナスイワ*)を各自用意すること(予備として、同じ音源をスマートフォン、音楽プレーヤー、USBメモリ等に入れて当日持参すること)。ただし、ピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。

- ・歌唱、楽器演奏から選択する科目をインターネット出願時に登録してください。
- ・楽器演奏を選択する者は、楽器名をインターネット出願時に登録してください。
- ・なお電子オルガンについては、ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900mとし、使用機種名を明記すること

※「マイナスイワ」=自分の演奏パートの音が入っていない音源

●専門試験②：小論文

課題は当日出題。400字づめ原稿用紙3枚程度とする。

〈選考に関する注意事項〉

- *原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン(ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム(小太鼓)、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
- *その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム(楽器室担当)〔TEL:0568-24-5141〕までお問い合わせください。
- *学内にある練習室(東キャンパス5号館1F)が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8:00~9:00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表

「適性検査(英語)」および「学科試験(英語)」試験を受験する場合に、CEFR基準のスコアを保持する者は、出願時に「活動報告書」でスコアおよび英語力向上のための主体的活動履歴などを提出すれば、所定の配点を付し「適性検査(英語)」「学科試験(英語)」の受験を免除することが可能です。CEFRスコア以上得点を獲得したい場合は「適性検査(英語)」「学科試験(英語)」を受験することにより、高得点のもので合否判定を行います。

資格・検定試験 CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L & R TOEIC S & W	本学 英語 得点獲得率
A2	120-139 A2 key B1 Preliminary	1700-1949 準2級、2級	690-959 Core, Basic, Advanced, CBT	—	135-224	235-415	—	625-1145	70% (100点満点中 70点)
B1	140-159 A2 key B1 Preliminary B2 First	1950-2299 2級、準1級	960-1189 Basic, Advanced, CBT	4.0 - 5.0	225-308	420-595	42-71	1150-1555	80% (100点満点中 80点)
B2	160-179 B1 Preliminary, B2 First C1 Advanced	2300-2599 準1級、1級	1190-1349 Advanced, CBT	5.5 - 6.5	309-374	600-795	72-94	1560-1840	90% (100点満点中 90点)
C1	180-199 B2 First C1 Advanced C2 Proficiency	2600-3299 1級	1350-1400 CBT	7.0 - 8.0	375-400	800	95-120	1845-1990	100% (100点満点中 100点)
C2	200-230 C1 Advanced C2 Proficiency	—	—	8.5 - 9.0	—	—	—	—	

※ただし、TOEIC L & R / TOEIC S & W については、TOEIC S & Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※各資格・検定の合格証明書、スコアレポートなどのコピーの提出が必要です。(検定・試験のスコアまたは等級に有効期限がある場合は、当該検定・試験実施団体が定める有効期限に準じます。)

「プラスα加点」について

「活動報告書」の提出で、最大50点を加点します。

高校3年次に至るまでの各分野に関する成長の経緯を見て取ることができる主体的な活動履歴や受賞歴、資格・検定があり、かつ「プラスα（最大50点）」の加点を希望する場合、「活動報告書」を提出することにより、最大50点を加点するものです。

「活動報告書」の様式は本学Webサイトから出力してください。

※受賞歴、資格・検定等については、第三者により作成された証明できる書類やそのコピーを添付してください。

※以下は一例です。志望する学部・領域・コースの各分野に関する活動履歴や受賞歴、資格・検定等を得点化します。

音楽領域		
音楽に関する大会やコンクール表彰	国際、全国	50点
	ブロック	30点
	都道府県他	10点
音楽に関する部活動や課外クラブ	部長経験	10点
	副部長経験	5点
音楽に関する個人指導歴（音楽教室等）	3年以上指導を受けている場合	30点
「音楽」履修状況 （高等学校で芸術科の選択科目で音楽が設置されている場合のみ）	校内当該教科で著しく優秀な成績を納めた場合	20点
ヤマハ音楽能力検定	2～5級	最大50点
カワイグレード検定	1～5級	最大50点
音楽検定	1～3級	最大50点

〔対象入試〕総合型選抜（1期～4期）、一般推薦入試

美術領域、デザイン領域		
美術・デザインに関する大会やコンクール表彰、および公共展	国際、全国	50点
	ブロック	30点
	都道府県他	10点
美術・デザインに関する部活動や課外クラブ	部長経験	10点
	副部長経験	5点
美術・デザインに関する個人指導歴（画塾等）	2年以上指導を受けている場合	30点
「美術」「工芸」履修状況 （高等学校で芸術科の選択科目で美術または工芸が設置されている場合のみ）	校内当該教科で著しく優秀な成績を納めた場合	20点
美術検定	1級	50点
	2級	30点
レタリング技能検定	2級以上	50点

〔対象入試〕一般推薦入試、一般入試（2期）

舞台芸術領域		
音楽、演劇、舞台、舞踏、その他、舞台芸術に関わる資格や経験など		最大50点
演劇や舞台に関する部活動や課外クラブ	部長経験	10点
	副部長経験	5点
CEFRスコア保持者 ^{※1}	B2以上	50点
留学経験		最大50点

〔対象入試〕総合型選抜（1期～4期）、一般推薦入試、エキスパート入試

芸術教養領域		
CEFRスコア保持者 ^{※1}	C2	50点
	C1	50点
	B2	40点
	B1	30点
	A2	20点
社会（奉仕）活動（分野不問） （NPO、NGO、自治体等のプロジェクト参加など）		最大50点
留学経験		最大50点
大会、コンクール表彰（分野不問）	国際、全国	50点
	ブロック	30点
	都道府県他	10点
部活動や課外クラブ（分野不問）	部長経験	10点
	副部長経験	5点

〔対象入試〕総合型選抜（1期～4期）、オンライン・イブニング入試（1期・2期）、一般推薦入試

子ども学科		
CEFRスコア保持者 ^{※1}	C2	50点
	C1	50点
	B2	40点
	B1	30点
	A2	20点
社会（奉仕）活動（分野不問） （NPO、NGO、自治体等のプロジェクト参加など）		最大50点
留学経験		最大50点
大会、コンクール表彰（分野不問）	国際、全国	50点
	ブロック	30点
	都道府県他	10点
部活動や課外クラブ（分野不問）	部長経験	10点
	副部長経験	5点
個人指導歴（ピアノや体操教室等）	3年以上指導を受けている場合	30点
ICT、パソコンに関する資格・検定		最大50点
中学、高校において幼稚園、保育園、小学校における所謂「仕事体験」への参加		10点
幼稚園や保育園・小学校等の指導に関わる資格や特技など （上記以外の音楽や身体表現、ことば表現、造形・図工、語学、ICTスキルなど）		最大50点

〔対象入試〕総合型選抜（1期～4期）、オンライン・イブニング入試（1期・2期）、一般推薦入試

※1 CEFRスコアについては、「名古屋芸術大学 英語 資格・検定試験とCEFR対照表」をご参照ください。（英語得点獲得率の得点とは異なりますのでご注意ください。）

採点基準・評価の観点等

学科・専攻	試験科目		主な採点基準／合格最低条件(学力試験)
芸術学部 芸術学科 音楽領域	実技、表現		・理解力(読譜力・読解力)=内容を正しく理解しているか ・基礎力=基礎的な技術が身についているか ・アピール力=相手に対し、しっかりと伝えられているか ・習熟度=完成度の高いものになっているか
	小論文		・課題の理解力=課題を適切に理解して記述されているか ・芸術への志向性=志望コースの専門性への基礎的な理解と高い意欲を持ち合わせているか ・基礎的な学力=段落や文字の間違いがなく、文章の構成が整っているか ・自分の意見の表現力=自分自身の考えが十分述べられているか
	楽典		・基礎力=基本的な知識(音程・音名・音階・調性・和音)をしっかりと理解(習得)しているか
	作品提出		・構成力=オリジナリティにあふれた個性的な作品になっているか ・完成度=基本をしっかりと押さえた魅力ある作品になっているか
	学科試験	英語	・受験者の平均点1/3に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)
		数学	
国語			
地理歴史			
芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域	小論文		・課題の理解力 ・論理的および批判的思考力 ・独自性=自分なりの考えが十分に述べられているか ・基礎学力=語彙力、文章力等において基礎的な力を身に付けているか ・舞台芸術全般に対する興味関心
	集団ディスカッション		・コミュニケーション力=人の話を聞いたり自分の考えを話すことができるか、疑問点を質問することができるか ・論理性=話題を建設的に発展させたり、深めたりできるか ・リーダーシップ=様々な意見をまとめることができるか ・チームワーク=相手に賛同したり、異なる意見を尊重できるか ・舞台芸術理解=舞台芸術に対する基本的な理解をしているか
	適性検査(英語)		・受験者の平均点1/3に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)
	基礎学力検査(英数国)		
	学科試験	英語	
		数学	
		国語	
		地理歴史	
芸術学部 芸術学科 美術領域	オリジナルな表現テスト		・理解力=出題内容を的確に把握・理解しているか ・完成度=制作された作品は説得力のある内容であるか ・表現力=自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか ・独創性=独自の視点、感覚を持っているか
	自己持参作品による プレゼンテーション、 持参作品、 作品写真ファイル		・完成度=持参作品や作品写真ファイル(ポートフォリオ)が、説得力のある内容であるか ・表現力=自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか ・美術に対する気持ちは入学後の学習意欲や作品制作に対する熱意を備えているか
	小論文		・課題の理解力=課題を適切に理解して記述されているか ・文章の基礎力=誤字脱字、論文の構成は整っているか ・表現力=自分なりの考えが十分に述べられているか ・美術に対する気持ちは美術を学ぶための意欲や関心を備えているか
	実技 (水彩、油彩、デッサン)		・理解力=出題内容を的確に把握・理解しているか ・観察力・描写力=形、光、色、立体感、質感等を描写するために必要な技術があるか ・表現力・構成力=空間への意識を持ち、モチーフを効果的に構成する基礎的な表現力があるか
	基礎学力検査(英数国)		・領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)
	学科試験	英語	
		数学	
		国語	
		地理歴史	

学科・専攻	試験科目		主な採点基準／合格最低条件(学力試験)
芸術学部 芸術学科 デザイン領域	考え方の表現テスト		・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・完成度＝制作された作品は説得力のある内容であるか ・表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか ・独創性＝独自の視点、感覚を持っているか
	自己持参作品による プレゼンテーション、 持参作品、 作品写真ファイル、 自己表現力テスト		・完成度＝持参作品(ポートフォリオ)の完成が高く、説得力のある内容であるか ・表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか ・独創性＝独自の視点、感覚を持っているか
	色彩構成テスト 立体構成テスト		・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・完成度＝制作された作品は説得力のある内容であるか ・表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか ・独創性＝独自の視点、感覚を持っているか
	構想表現テスト (先端メディア表現コース)		・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・構想力＝制作された作品は説得力ある内容であるか ・独創性＝独自の視点、感覚を持っているか
	文章表現テスト (文芸・ライティングコース)		・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・表現力＝柔軟な発想で文章表現ができているか ・完成度＝誤字脱字はないか。文章全体がまとまっているか
	小論文		・課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか ・論文構成の基礎力＝論文の構成は整っているか ・基礎的な学力＝段落や文字の間違ひはないか ・表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか ・デザインのセンス＝デザイン領域で学ぶための意欲や関心を備えているか
	実技(鉛筆デッサン)		・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・観察力・描写力＝構図、形、動き、光、量感等を描写することに必要な技術が優れているか ・構成力・発想力＝モチーフをユニークに配置し、モチーフと空間になる余白との関係をバランス良く捉えられているか
	基礎学力検査[英数国]		・領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)
	学科試験	英語	
数学			
国語			
地理歴史			
基礎能力テスト (3年次編入学)		・理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか ・完成度＝制作された作品は説得力のある内容であるか ・表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか ・独創性＝独自の視点、感覚を持っているか	
芸術学部 芸術学科 芸術教養領域	小文記述		・質問を理解して答えているか ・日本語として分かりやすく正しい表現になっているか ・答えの内容がアドミッションポリシーに基づいており、かつ独創的で興味深いか
	小論文		・質問を理解して答えているか ・日本語として分かりやすく正しい表現になっているか ・答えの内容がアドミッションポリシーに基づいており、かつ独創的で興味深いか
	適性検査(英語)		・原則として当該科目受験者の平均点の1/2に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)
	基礎学力検査[英数国]		
	学科試験	英語	・原則として合否判定科目のうち、当該科目受験者の平均点の1/2に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)
		数学	
		国語	
地理歴史			

学科・専攻	試験科目		主な採点基準／合格最低条件(学力試験)
教育学部 子ども学科	小論文		・課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか ・論文構成の基礎力＝論文の構成は整っているか ・基礎的な学力＝段落や文字の間違ひはないか ・自分の意見の表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか ・教育・保育のセンス＝教育者・保育者になるための意欲や関心を備えているか
	プレゼンテーション		・表現の技術・能力＝技術的に難しかったところはどこか理解できているか ・意欲・積極性＝積極的に表現しようとする意欲があったか ・表現に関する創意工夫＝創意工夫をしたところが表れているか ・芸術的な感性＝芸術的な感性を一番要求されるところはどこか理解できているか ・教育・保育のセンス＝教育・保育に自分の技能・表現力をどのように還元しようとしているか
	適性検査(英語)		・受験者の平均点1/3に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)
	基礎学力検査[英数国]		
	学科試験	英語	
		数学	
		国語	
地理歴史			

各種情報提供(過去問題、入試結果)

名古屋芸術大学受験生サイト「入試情報」
www.nua.ac.jp/examinee/entrance/

問い合わせ先



名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

東キャンパス
〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
西キャンパス
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地

詳しいお問い合わせについてはこちらへお電話ください

広報部 学生募集チーム

TEL [0568]24-0318

受付時間 9:00～17:00[土日祝日除く]